

柏市地域健康福祉活動計画策定のための アンケート調査報告書

平成 25 年 3 月
社会福祉法人 柏市社会福祉協議会

も く じ

I	調査の概要.....	1
1	調査目的.....	2
2	調査設計.....	2
3	回収結果.....	2
4	報告書を読む場合の留意点.....	2
5	調査結果の概要.....	3
II	調査結果.....	5
I.	町会等についておたずねします。.....	6
II.	日常生活の支援についておたずねします。.....	25
III.	柏市社会福祉協議会（市社協）についておたずねします。.....	35
IV.	町会・自治会・区・管理組合の長についておたずねします。.....	41
III	調査票.....	53

I 調査の概要

1 調査目的

柏市社会福祉協議会では、「だれもが その人らしく 住み慣れた地域で いきいきと暮らせるまち 柏」の実現に向け、日々、住民の皆様とともにさまざまな活動に取り組んでいます。少子高齢社会の進展や無縁社会が叫ばれる中、これからも地域で安心して暮らすためには、住民同士の身近な見守りや支えあいが、とても大切になります。そして、地縁関係を基盤とする町会等の相互扶助の取り組みは、今後益々重要になると考えています。しかし一方で、町会等の運営や活動においては、担い手不足など、さまざまな課題や悩みを抱えていると思います。

そこで本調査は、町会・自治会・区・管理組合の長の皆様を対象に、町会等の現状やご意見、ご提言を広くお聞きし、身近な地域での支えあい活動を検討する資料とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査設計

- (1) 調査対象者：286 の町会・自治会・区・管理組合の長
- (2) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (3) 調査期間：平成 25 年 1 月 15 日（火）～1 月 31 日（木）
ただし、平成 25 年 2 月 18 日（月）到着分まで集計

3 回収結果

対象者数	有効発送数	有効回収数	有効回収率
286 町会等	284 町会等	205 件	72.2%

4 報告書を読む場合の留意点

- (1) 回答結果の割合「％」は、有効サンプル数に対するそれぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
また、複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- (2) 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計表は分析軸となる設問に「無回答」がある場合は表示していません。そのため、分析軸の「n」の合計が、全体の合計と一致しない場合があります。

5 調査結果の概要

■ 町会長等の年齢と就任年数

- 町会長等の約8割は、「60 歳以上」でした。また、就任年数は、「1 年目」が約4割、次いで「5年以上」が約2割となりました。
- 就任年数の特徴としては、短期か長期に分類される傾向があり、北部圏域及び南部1、沼南では、「1 年目」の割合が高くなりました。一方、中央圏域では、「5年以上」の割合が高く、町会等の運営や課題との関係で見ると、他の圏域と比べ「会長になるとなかなか辞められない」との回答が高くなりました。

■ 町会等への加入率

- 町会等への加入率は、「90%以上」が約5割、次いで「80～90%未満」が約2割となり、両方を合わせると、7割以上の町会等で加入率 80%以上となりました。

■ 町会等の福祉活動の取組み

- 「福祉活動」に取り組んでいる町会等は約5割で、「自主防災活動」、「イベント活動」に次いで3番目に多い活動でした。また、その活動の中心は、「高齢者向けのサロン活動」でした。

■ 福祉の相談と連携

- 「福祉に関する相談を受けたことがある」町会長等は、約4割でした。また、町会や町会長等の福祉に関する活動や相談相手の中心は、「民生委員・児童委員」でした。

■ 町会等の役割と運営や活動上の課題・工夫

- 町会長等の多くは、「地域のつながり・助けあい(共助)」や「安全安心・住みよいまちづくり」を町会等の大切な役割と考えています。
- 町会等の運営や活動上の課題の中心は、「町会活動への関心不足」と「参加者及び役員の成り手不足」でした。なお、既に課題解決に向けて取り組んでいる町会等は約4割でした。
- 町会等の運営や活動上の工夫として町会長等は、「交流活動・コミュニケーションの強化」や「情報提供・交換・共有」、「参画・参加意識の向上」、「役割分担や平等・公正な運営」等に取り組んでいます。
- 町会運営や活動への支援として、全体的には「資機材支援」、「企画運営支援」、「町会加入促進」、「運営等の研修」順で割合が高くなりましたが、住宅特性や町会長等の年代・就任年数等との関係でみると、その割合（順番）はさまざまでした。
 - * 住宅特性にみると…戸建住宅と賃貸住宅中心の場合、「町会等加入の支援」や「町会等運営や企画等に関する研修」が約4割を越えています。
 - * 町会長等の就任年数別にみると…就任1～2年目は、「資機材支援」、就任3年目は、「企画運営支援」、就任4年目以上は、「町会等加入の支援」が高い割合となりました。

■ 日常生活で支援を必要とする人の把握

- 日常生活で支援を必要とする人の把握について、「ある程度把握している」が約5割、次いで「少しだけ把握している」が約3割となりました。なお、町会長等が80歳以上、戸建住宅を含む住宅特性、健康づくり活動や福祉活動に取り組んでいる町会等では、把握している割合は高くなりましたが、圏域別や就任年数別では、あまり差がみられませんでした。
- 日常生活支援の必要性について「話し合いや取り組む必要性は感じるが、まだ話し合いや取り組みまで至っていない」が約6割、次いで「取り組み等について話し合っている」が約2割となりました。これらに「具体的に取り組んでいる」も含めると、約9割となり、生活支援の必要性を感じているという結果になりました。
- 「支援を必要とする人を把握している」割合が高いほど、「具体的に支援活動に取り組んでいる」、「取り組みについて話し合っている」の割合が高くなりました。一方で、町会運営上の課題等との関係でみた場合、「運営や活動に負担を感じている」、「町会等のあるべき姿が見えない」、「町会等の必要性を感じない」との回答割合が高いほど、支援が必要な人への支援について、「話し合いや取り組む必要性を感じていない」との回答が高くなりました。

■ 日常生活支援への今後の取り組み

- 今後の取り組みについて「緊急時の支援」に取り組めそうだと考える町会等は約7割、次いで「見守り活動」、「サロン活動」、「生活支援」と続きました。なお、「生活支援」との回答者に具体的な取り組みを聞くと「ごみ捨て」が約7割、次いで「草刈り」、「日常的な軽作業」と続きました。
- 町会等が今後、日常生活支援に取り組む際の支援として、「情報提供」、「個人情報」、「金銭・資機材支援」、「人材確保・育成・派遣」等がありました。一方で、「日常生活支援を町会等が行うことが困難」との回答もありました。

■ 柏市社会福祉協議会の事業や取り組み

- 社協活動の取り組みの認知度としては、「地域活動支援」と「地域福祉の情報誌“紙ひこうき”」が約7割、次いで「ボランティアセンター」、「さわやかサービス」等が続きますが、その割合はすべて3割以下となりました。
- 社協へ今後、期待する施策については、全体としては「高齢者支援の充実」が約5割、次いで「小地域活動への支援」、「社会的孤立への対応」などと続きました。しかし、若い町会長等からは、「子育て支援の充実」への期待が高く、年代で期待する施策が異なる結果となりました。

■ 近隣センター等を拠点とした身近な福祉の相談窓口の設置

- 身近な福祉の相談窓口の設置については、「とても重要だと思う」と「重要だと思う」を合わせると約9割となり、拠点設置の重要性が理解されていることが伺えました。

Ⅱ 調査結果

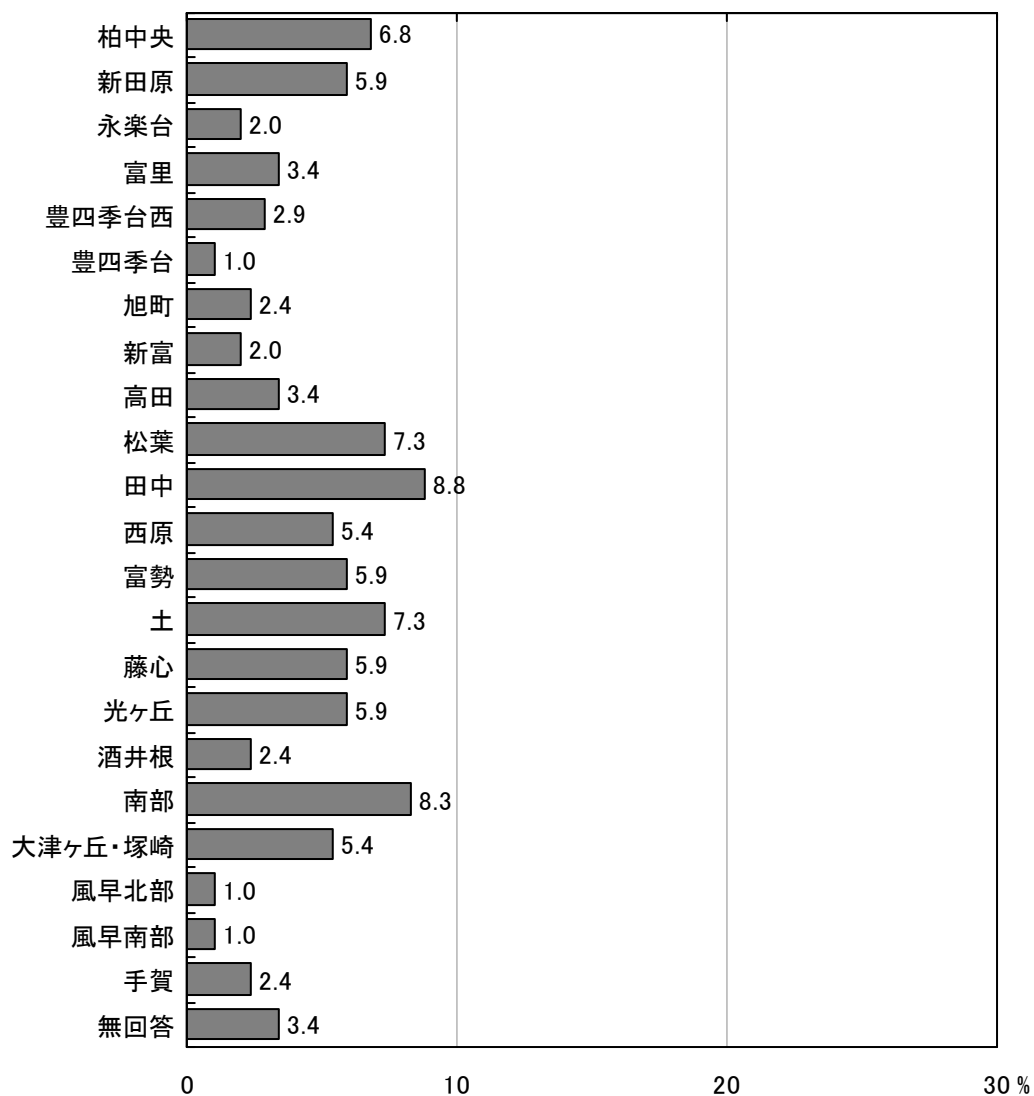
I. 町会等についておたずねします。

問1 あなたの所属する町会・自治会・区・管理組合（以下、町会等という。）の地区はどれですか。（ひとつだけ○）

回答者の所属する町会等の地区については、以下のとおりとなっています。

また、日常生活圏域ごとに分けると、「南部1」が最も多くなっています。

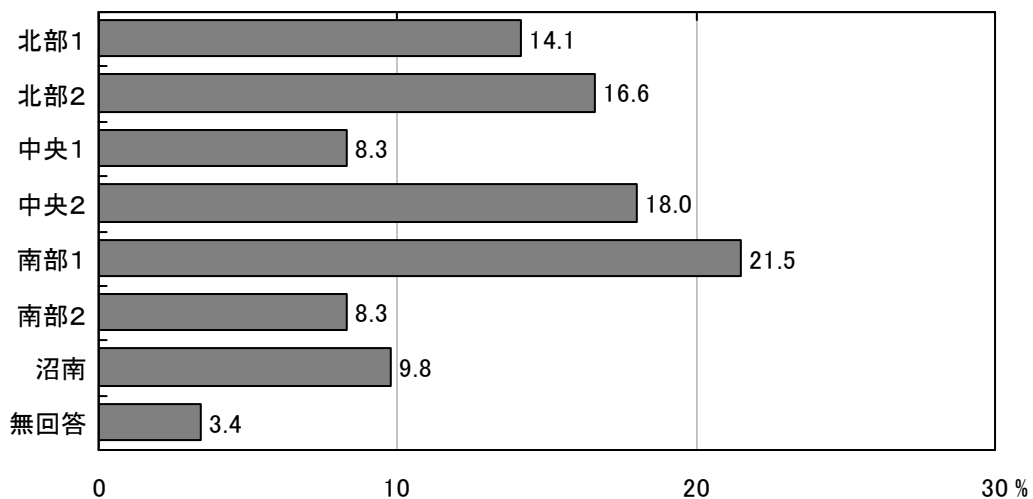
問1（単数回答）n=205



■日常生活圏域の地区割り

各町会等を日常生活圏域ごとに分けると、「南部1」が最も多くなっています。

★日常生活圏域（単数回答）n=205

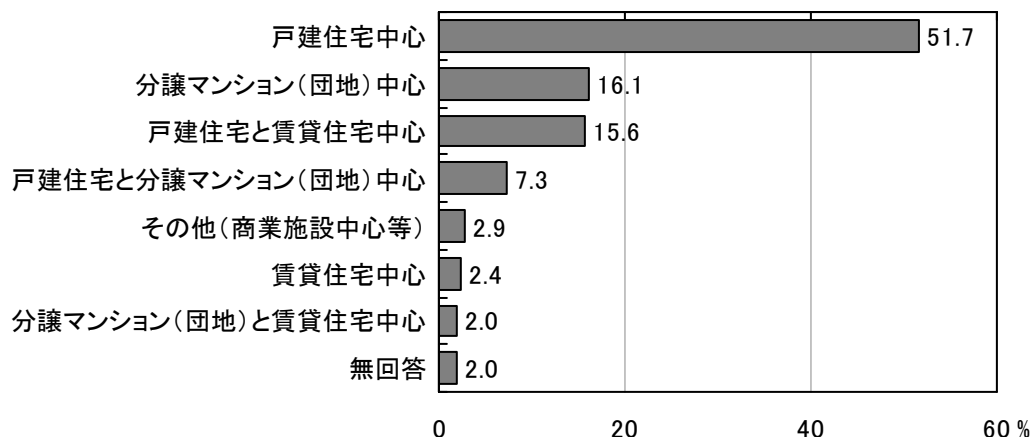


日常生活圏域	地区社会福祉協議会
北部1	田中、西原
北部2	高田、松葉、富勢
中央1	豊四季台西、豊四季台、旭町、新富
中央2	柏中央、新田原、永楽台、富里
南部1	土、藤心、南部
南部2	光ヶ丘、酒井根
沼南	大津ヶ丘・塚崎、風早北部、風早南部、手賀

問2 あなたの町会等の住宅特性はどれですか。(ひとつだけ○)

町会等の住宅特性については、「戸建住宅中心」が51.7%と最も多く、次いで「分譲マンション(団地)中心」が16.1%、「戸建住宅と賃貸住宅中心」が15.6%となっています。

問2(単数回答) n=205



■クロス集計(日常生活圏域別)

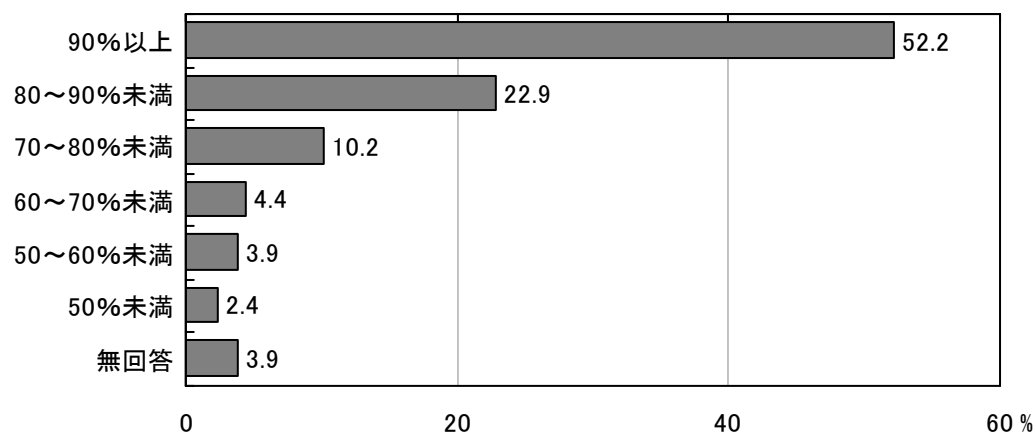
日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「戸建住宅中心」が最も多く、特に[南部1]と[沼南]で6割を超えています。次いで、[北部1]、[中央1]と[中央2]では「戸建住宅と賃貸住宅中心」、それ以外の圏域では「分譲マンション(団地)中心」が多くなっています。また、[中央1]と[中央2]で「その他(商業施設中心等)」が1割を超えています。

単位: %	合計	戸建住宅中心	分譲マンション(団地)中心	戸建住宅と賃貸住宅中心	戸建住宅と分譲マンション(団地)中心	その他(商業施設中心等)	賃貸住宅中心	分譲マンション(団地)と賃貸住宅中心	無回答
合 計	205	51.7	16.1	15.6	7.3	2.9	2.4	2.0	2.0
日常生活圏域別	北部1	29	55.2	10.3	24.1	6.9	0.0	3.4	0.0
	北部2	34	47.1	23.5	17.6	8.8	0.0	0.0	0.0
	中央1	17	47.1	5.9	29.4	5.9	11.8	0.0	0.0
	中央2	37	35.1	16.2	21.6	13.5	10.8	0.0	0.0
	南部1	44	68.2	15.9	9.1	0.0	0.0	2.3	2.3
	南部2	17	47.1	29.4	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
	沼南	20	65.0	15.0	5.0	10.0	0.0	5.0	0.0

問3 あなたの町会等への加入率は概ね何%くらいだと思いますか。(ひとつだけ○)

町会等の加入率については、「90%以上」が52.2%と最も多く、次いで「80～90%未満」が22.9%と、加入率が80%以上の町会等が75.1%となっています。

問3 (単数回答) n=205



■クロス集計（日常生活圏域別）

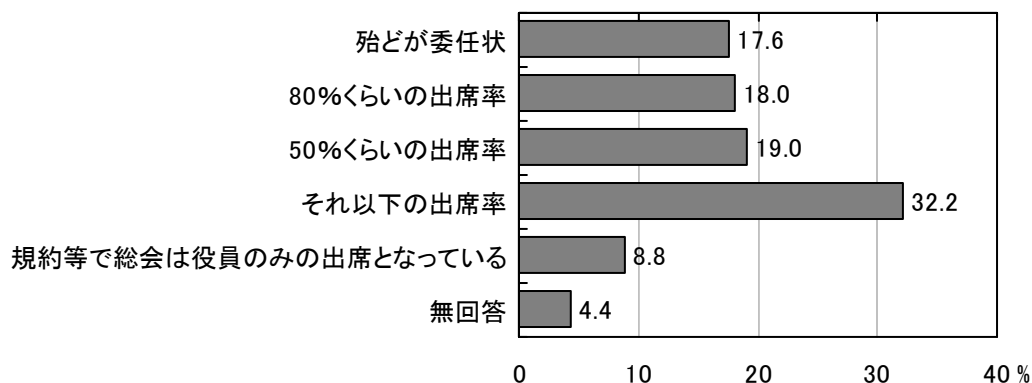
日常生活圏域別にみると、[中央1]で「80～90%未満」が、それ以外の圏域では「90%以上」がそれぞれ最も多くなっています。また、[北部1]で「70～80%未満」が24.1%、[中央1]で「60～70%未満」が11.8%、[南部2]で「50%未満」が11.8%と他の圏域に比べて割合が高くなっています。

単位: %		合計	90%以上	80% ～ 90% 未満	70% ～ 80% 未満	60% ～ 70% 未満	50% ～ 60% 未満	50%未満	無回答
合 計		205	52.2	22.9	10.2	4.4	3.9	2.4	3.9
日常生活圏域別	北部1	29	34.5	31.0	24.1	6.9	0.0	3.4	0.0
	北部2	34	55.9	20.6	2.9	5.9	5.9	2.9	5.9
	中央1	17	35.3	41.2	0.0	11.8	5.9	5.9	0.0
	中央2	37	51.4	18.9	16.2	5.4	8.1	0.0	0.0
	南部1	44	65.9	15.9	9.1	2.3	2.3	0.0	4.5
	南部2	17	58.8	23.5	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0
	沼南	20	55.0	25.0	10.0	0.0	5.0	0.0	5.0

問4 あなたの町会等の総会出席状況はどうですか。(ひとつだけ○)

町会等の総会出席状況については、「それ以下の出席率」が32.2%と最も多く、次いで「50%くらいの出席率」が19.0%、「80%くらいの出席率」が18.0%となっています。

問4 (単数回答) n=205



■クロス集計（日常生活圏域別）

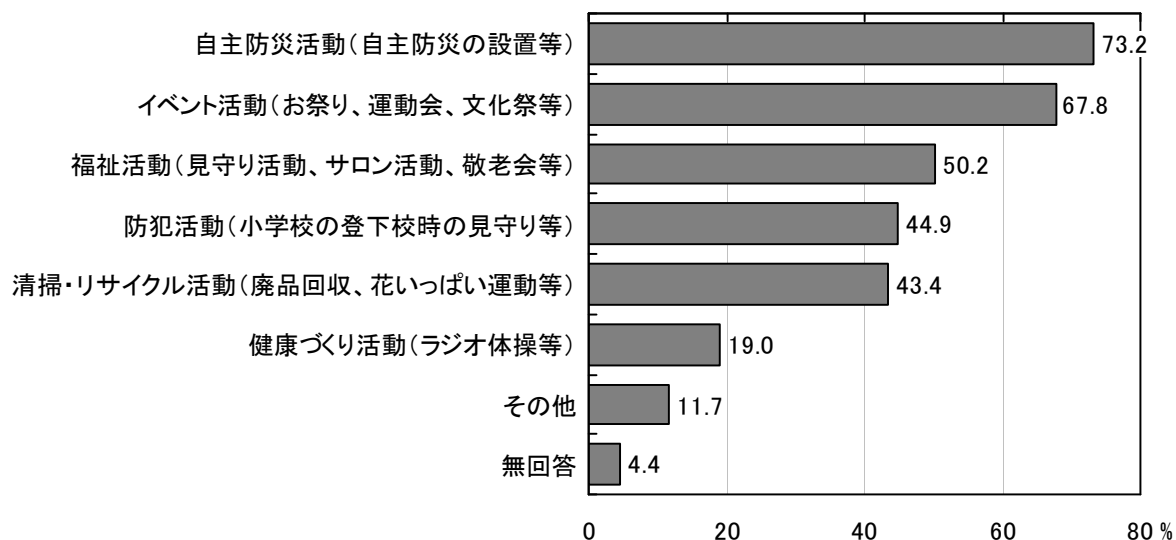
日常生活圏域別にみると、[中央2]で「80%くらいの出席率」、それ以外の圏域で「それ以下の出席率」がそれぞれ最も多くなっています。また、[南部2]では「殆どが委任状」が他の圏域に比べて高い割合となっています。

単位: %		合計	殆どが委任状	80% くらいの 出席率	50% くらいの 出席率	それ以下の 出席率	規約等で総会 は役員のみ 出席となっ ている	無回答
合 計		205	17.6	18.0	19.0	32.2	8.8	4.4
日常生活圏域別	北部1	29	10.3	13.8	27.6	34.5	10.3	3.4
	北部2	34	17.6	14.7	23.5	41.2	0.0	2.9
	中央1	17	5.9	17.6	5.9	35.3	29.4	5.9
	中央2	37	13.5	24.3	18.9	21.6	16.2	5.4
	南部1	44	22.7	22.7	22.7	27.3	4.5	0.0
	南部2	17	41.2	5.9	11.8	41.2	0.0	0.0
	沼南	20	15.0	15.0	15.0	45.0	5.0	5.0

問5 あなたの町会等ではどのような活動に取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○) ※ ふるさと協議会の活動ではなく、町会等の活動でお考えください。

町会等で取り組んでいる活動については、「自主防災活動（自主防災の設置等）」が73.2%と最も多く、次いで「イベント活動（お祭り、運動会、文化祭等）」が67.8%、「福祉活動（見守り活動、サロン活動、敬老会等）」が50.2%となっています。

問5（複数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別）

日常生活圏域別にみると、[北部1]、[中央2]、[南部2]で「イベント活動（お祭り、運動会、文化祭等）」、それ以外の圏域で「自主防災活動（自主防災の設置等）」が最も多くなっています。また、[中央2]で「防犯活動（小学校の登下校時の見守り等）」が64.9%と他の圏域より割合が高くなっています。

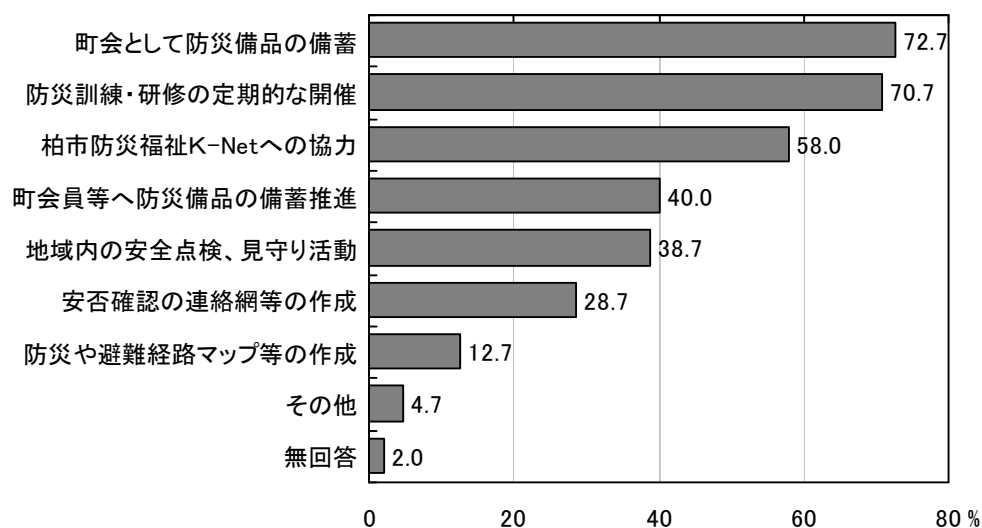
単位: %		合計	自主防災活動(自主防災の設置等)	イベント活動(お祭り、運動会、文化祭等)	福祉活動(見守り活動、サロン活動、敬老会等)	防犯活動(小学校の登下校時の見守り等)	清掃・リサイクル活動(廃品回収、花いっぱい運動等)	健康づくり活動(ラジオ体操等)	その他	無回答
合 計		205	73.2	67.8	50.2	44.9	43.4	19.0	11.7	4.4
日常生活圏域別	北部1	29	58.6	86.2	65.5	27.6	31.0	20.7	6.9	0.0
	北部2	34	88.2	67.6	50.0	47.1	52.9	17.6	11.8	2.9
	中央1	17	76.5	64.7	47.1	47.1	29.4	17.6	23.5	0.0
	中央2	37	54.1	78.4	56.8	64.9	59.5	18.9	13.5	2.7
	南部1	44	93.2	56.8	47.7	36.4	34.1	27.3	11.4	0.0
	南部2	17	76.5	76.5	70.6	52.9	52.9	23.5	5.9	11.8
	沼南	20	65.0	60.0	25.0	50.0	50.0	5.0	15.0	5.0

(問5で「2. 自主防災活動」と回答された方におたずねします。)

問5-1 どのような取り組みをされていますか。(あてはまるものすべてに○)

自主防災活動で取り組んでいることについては、「町会として防災備品の備蓄」が72.7%と最も多く、次いで「防災訓練・研修の定期的な開催」が70.7%、「柏市防災福祉K-Netへの協力」が58.0%となっています。

問5-1 (複数回答) n=150



■クロス集計（日常生活圏域別／支援が必要な人の把握状況別）

日常生活圏域別にみると、[北部1]、[北部2]、[中央2]、[南部1]で「町会として防災備品の備蓄」が最も多く、特に[中央2]で90.0%となっています。また、それ以外の圏域では「防災訓練・研修の定期的な開催」が最も多くなっています。また、[沼南]では「柏市防災福祉 K-Net への協力」も最多となっています。さらに、[中央2]において、他の圏域に比べてほぼすべての項目で割合が高くなっています。

支援が必要な人の把握状況別にみると、支援が必要な人の把握状況に問わず、概ね「町会として防災備品の備蓄」と「防災訓練・研修の定期的な開催」との回答割合が高くなっています。また、把握している度合いが高いほど、「安否確認の連絡網等の作成」や「防災や避難経路マップ等の作成」に取り組んでいる割合が高くなっています。

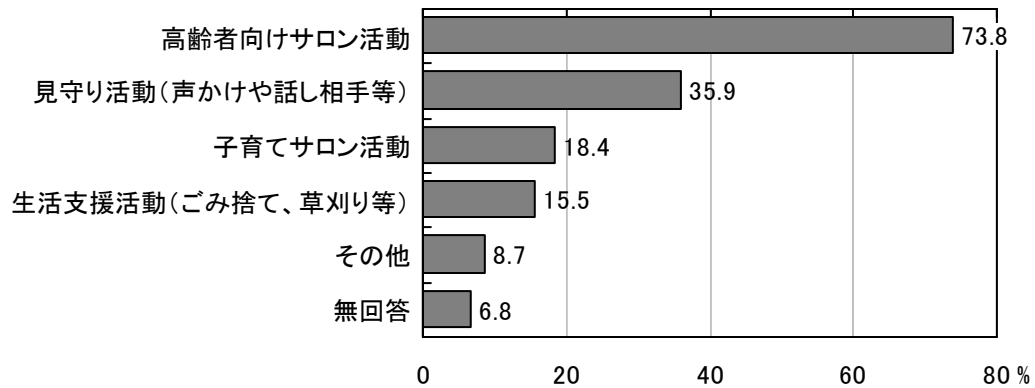
単位：%		合計	備品 の備蓄 町会として防災	定期的な開催 防災訓練・研修の	K- Net への協力 柏市防災福祉	品 の備蓄推進 町会員等へ防災備	検、見守り活動 地域内の安全点	網等の作成 安否確認の連絡	マップ等の作成 防災や避難経路	その他	無回答
合 計		150	72.7	70.7	58.0	40.0	38.7	28.7	12.7	4.7	2.0
日常生活圏域別	北部1	17	88.2	76.5	58.8	29.4	35.3	5.9	17.6	0.0	0.0
	北部2	30	76.7	60.0	40.0	43.3	30.0	26.7	6.7	3.3	10.0
	中央1	13	53.8	84.6	61.5	46.2	46.2	30.8	7.7	0.0	0.0
	中央2	20	90.0	75.0	80.0	55.0	70.0	50.0	15.0	0.0	0.0
	南部1	41	73.2	65.9	56.1	36.6	26.8	31.7	7.3	9.8	0.0
	南部2	13	38.5	76.9	53.8	38.5	46.2	15.4	15.4	7.7	0.0
	沼南	13	69.2	76.9	76.9	30.8	38.5	30.8	30.8	7.7	0.0
支援が必要な人の把握状況	充分把握している	14	71.4	78.6	64.3	57.1	50.0	35.7	21.4	0.0	7.1
	ある程度把握している	73	75.3	69.9	65.8	38.4	42.5	35.6	15.1	2.7	1.4
	少しだけ把握している	42	76.2	71.4	52.4	38.1	35.7	23.8	9.5	9.5	0.0
	まったく把握していない	13	61.5	76.9	38.5	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7
	把握する必要性を感じていない	3	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0

(問5で「3. 福祉活動」と回答された方におたずねします。)

問5-2 どのような取り組みをされていますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉活動で取り組んでいることについては、「高齢者向けサロン活動」が73.8%と最も多く、次いで「見守り活動(声かけや話し相手等)」が35.9%、「子育てサロン活動」が18.4%となっています。

問5-2 (複数回答) n=103



■クロス集計（日常生活圏域別／支援が必要な人が困っている内容別）

日常生活圏域別にみると、[中央2]で「見守り活動（声かけや話し相手等）」が、それ以外の圏域では「高齢者向けサロン活動」がそれぞれ最も多くなっています。また、[中央1]、[中央2]、[南部1]で「生活支援活動（ごみ捨て、草刈り等）」が2割以上と他の圏域に比べて割合が高くなっています。

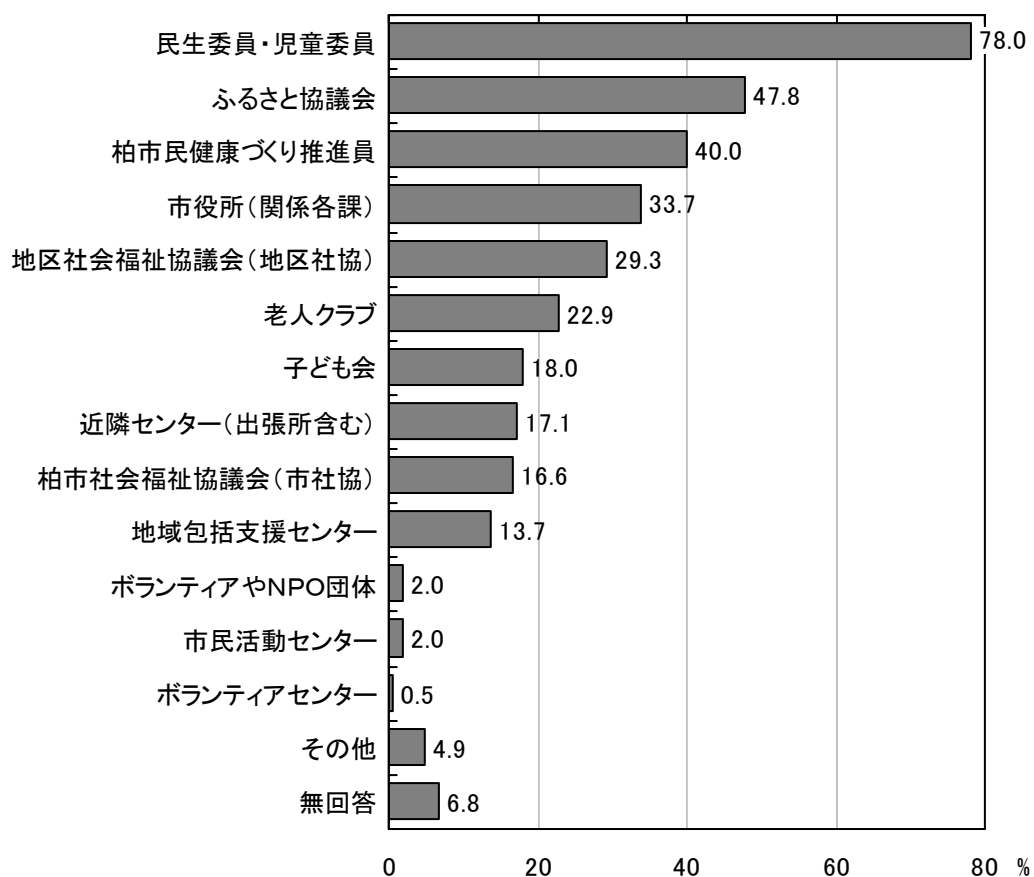
支援が必要な人が困っている内容別にみると、すべての項目で「高齢者向けサロン活動」が最も多くなっています。なお特徴的なところは、[仲間がつくりにくい]という課題を持っている町会等で「高齢者向けサロン活動」に取り組んでいる割合が90.6%、[買い物等の外出ができない]や[ごみ捨てができない]という課題を持っている町会等で「生活支援活動（ごみ捨て、草刈り等）」に取り組んでいる割合が高くなっています。

単位：%		合計	高齢者向けサロン活動	見守り活動（声かけや話し相手等）	子育てサロン活動	生活支援活動（ごみ捨て、草刈り等）	その他	無回答
合 計		103	73.8	35.9	18.4	15.5	8.7	6.8
日常生活圏域別	北部1	19	73.7	10.5	0.0	0.0	5.3	21.1
	北部2	17	82.4	23.5	11.8	5.9	17.6	0.0
	中央1	8	62.5	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0
	中央2	21	61.9	66.7	33.3	33.3	4.8	14.3
	南部1	21	76.2	42.9	23.8	23.8	9.5	0.0
	南部2	12	83.3	33.3	33.3	8.3	0.0	0.0
	沼南	5	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支援が必要な人が困っている内容別	仲間がつくりにくい	32	90.6	31.3	15.6	15.6	6.3	0.0
	買い物等の外出ができない	26	73.1	46.2	30.8	26.9	15.4	3.8
	電球交換等の軽作業ができない	12	66.7	58.3	25.0	16.7	16.7	0.0
	ごみ捨てができない	20	70.0	60.0	35.0	25.0	5.0	5.0
	町会行事に参加できない	45	77.8	44.4	20.0	13.3	8.9	2.2
	町会の班長等ができない	62	80.6	41.9	17.7	14.5	8.1	1.6
	その他	7	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6

問6 あなたやあなたの町会等は、福祉に関する活動や相談に対応するとき、どんなところと連携していますか。（あてはまるものすべてに○）

回答者や町会等が福祉に関する活動や相談に対応するとき、連携している団体・機関等については、「民生委員・児童委員」が78.0%と最も多く、次いで「ふるさと協議会」が47.8%、「柏市健康づくり推進員」が40.0%となっています。

問6（複数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／支援が必要な人の把握状況別）

日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「民生委員・児童委員」が最も多くなっています。また、ほとんどの圏域で「柏市民健康づくり推進員」や「ふるさと協議会」が次いで多くなっていますが、[沼南]では「地区社会福祉協議会」が2位回答となっています。

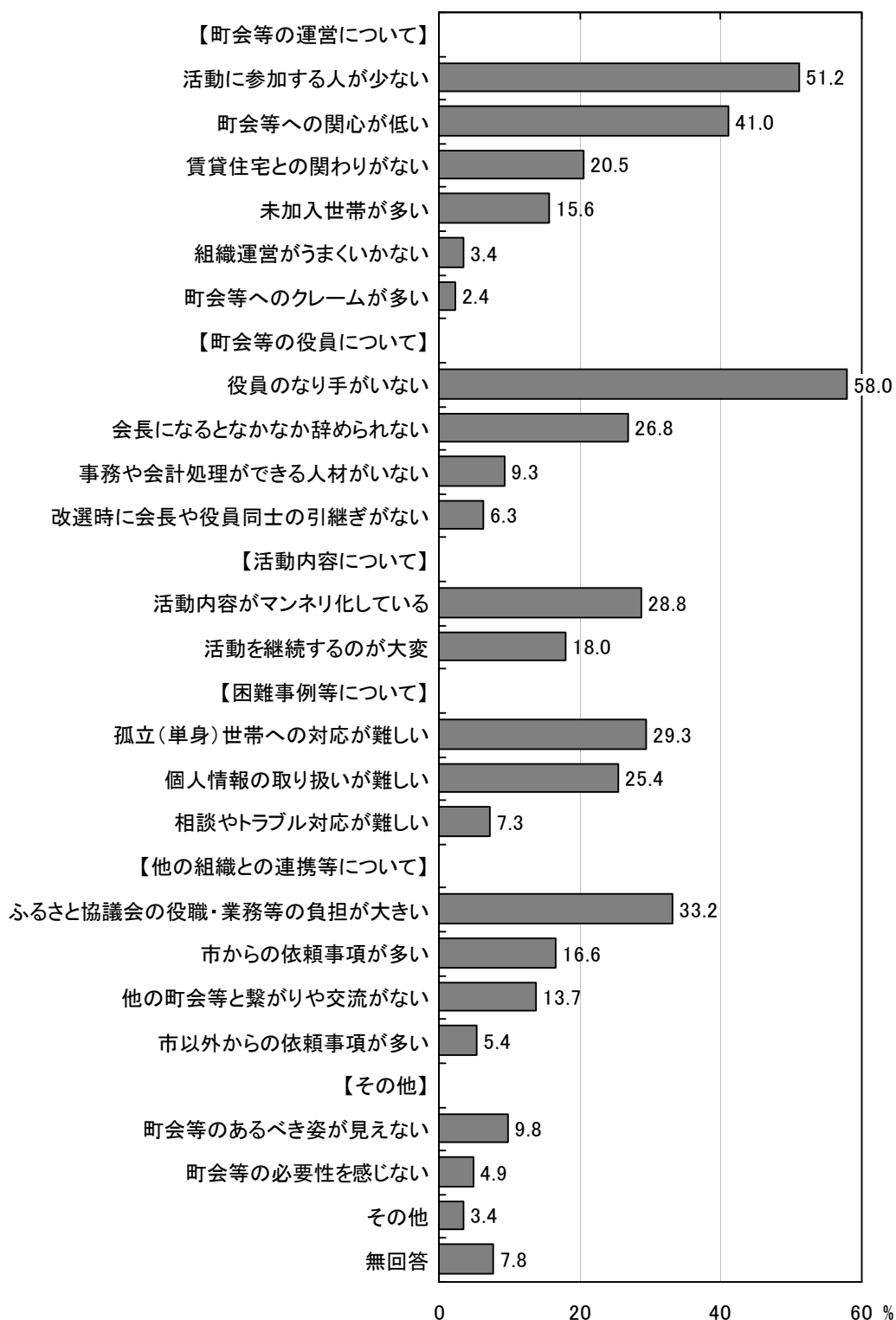
支援が必要な人の把握状況についてみると、[把握する必要を感じていない]との回答以外で「民生委員・児童委員」が最も多く、把握している割合が高いほど、回答割合が高くなっています。また、[充分把握している]で「ボランティアやNPO 団体」との回答が1 割を超えています。

単位：%		合計	民生委員・児童委員	ふるさと協議会	柏市民健康づくり推進員	市役所（関係各課）	地区社会福祉協議会（地区社協）	老人クラブ	子ども会	近隣センター（出張所含む）	柏市社会福祉協議会（市社協）	地域包括支援センター	ボランティアやNPO 団体	市民活動センター	ボランティアセンター	その他
合 計		205	78.0	47.8	40.0	33.7	29.3	22.9	18.0	17.1	16.6	13.7	2.0	2.0	0.5	4.9
日常生活圏域別	北部1	29	96.6	37.9	51.7	27.6	17.2	27.6	24.1	10.3	10.3	20.7	3.4	0.0	0.0	6.9
	北部2	34	79.4	58.8	35.3	26.5	8.8	23.5	14.7	23.5	20.6	2.9	8.8	5.9	0.0	0.0
	中央1	17	76.5	47.1	52.9	29.4	47.1	11.8	11.8	17.6	11.8	35.3	0.0	0.0	0.0	11.8
	中央2	37	81.1	70.3	54.1	32.4	37.8	37.8	37.8	18.9	18.9	21.6	0.0	2.7	2.7	2.7
	南部1	44	72.7	47.7	25.0	34.1	20.5	15.9	9.1	15.9	9.1	6.8	0.0	2.3	0.0	6.8
	南部2	17	88.2	41.2	64.7	52.9	52.9	23.5	29.4	35.3	29.4	23.5	0.0	0.0	0.0	5.9
	沼南	20	70.0	15.0	15.0	50.0	55.0	20.0	0.0	5.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
支援が必要な人の把握状況別	充分把握している	19	84.2	57.9	47.4	26.3	31.6	21.1	15.8	21.1	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3
	ある程度把握している	98	83.7	56.1	41.8	36.7	31.6	25.5	23.5	20.4	15.3	16.3	3.1	2.0	2.0	0.0
	少しだけ把握している	57	77.2	36.8	33.3	33.3	26.3	24.6	12.3	8.8	24.6	12.3	7.0	1.8	1.8	0.0
	まったく把握していない	19	52.6	26.3	36.8	26.3	21.1	15.8	15.8	21.1	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0
	把握する必要性を感じていない	4	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 あなたの町会等の運営や活動で、課題と感じていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

町会等の運営や活動で課題と感じていることについては、「役員のなり手がいない」が58.0%と最も多く、次いで「活動に参加する人が少ない」が51.2%、「町会等への関心が低い」が41.0%となっています。

問7（複数回答）n=205



<町会等の運営について>

■クロス集計（日常生活圏域別）

日常生活圏域別にみると、すべての圏域で、「活動に参加する人が少ない」と「町会等への関心が低い」の割合が高くなっています。なお特徴的なところでは、[北部1]で「未加入世帯が多い」が2割台、[中央1]で「賃貸住宅との関わりがない」が4割台と、他の圏域に比べ、高くなっています。

単位：%		合計	活動に参加する人が少ない	町会等への関心が低い	賃貸住宅との関わりがない	未加入世帯が多い	組織運営がうまくいかない	町会等へのクレームが多い
合 計		205	51.2	41.0	20.5	15.6	3.4	2.4
日常生活圏域別	北部1	29	48.3	27.6	13.8	27.6	6.9	3.4
	北部2	34	52.9	52.9	17.6	8.8	2.9	0.0
	中央1	17	64.7	47.1	41.2	17.6	5.9	0.0
	中央2	37	45.9	48.6	32.4	10.8	2.7	0.0
	南部1	44	52.3	40.9	18.2	18.2	2.3	4.5
	南部2	17	58.8	17.6	0.0	17.6	0.0	0.0
	沼南	20	40.0	35.0	25.0	10.0	5.0	5.0

<町会等の役員について／活動内容について>

■クロス集計（日常生活圏域別）

日常生活圏域別にみると、<町会等の役員について>はすべての圏域で「役員のなり手がない」の割合が高くなっています。<活動内容について>は、「活動内容がマンネリ化している」の割合が高くなっています。なお、特徴的なところでは、[中央2]、[南部1]、[南部2]で活動を継続するのが大変」が2割台と、他の圏域に比べ、高くなっています。

単位：%	合計	役員のなり手がない	会長になれな	会長の任期が長い	処理が人材がいない	事務や会計が得意でない	長や役員同士の引継ぎがスムーズでない	改選時に会長の交代がスムーズでない	活動内容がマンネリ化している	活動を継続するのが大変
合 計	205	58.0	26.8	9.3	6.3	28.8	18.0			
日常生活圏域別	北部1	29	65.5	20.7	13.8	6.9	31.0	13.8		
	北部2	34	58.8	17.6	5.9	0.0	44.1	8.8		
	中央1	17	70.6	58.8	11.8	0.0	23.5	11.8		
	中央2	37	48.6	43.2	16.2	5.4	32.4	24.3		
	南部1	44	68.2	18.2	2.3	15.9	22.7	25.0		
	南部2	17	41.2	23.5	5.9	0.0	23.5	23.5		
	沼南	20	50.0	20.0	10.0	0.0	15.0	10.0		

＜困難事例等について／他の組織との連携について／その他＞

■クロス集計（日常生活圏域別）

日常生活圏域別にみると、＜困難事例等について＞は、すべての圏域で「孤立（単身）世帯への対応が難しい」と「個人情報の取り扱いが難しい」の割合が高くなっています。＜他の組織との連携について＞は、すべての圏域で「ふるさと協議会の役職・業務等の負担が大きい」と「市からの依頼事項が多い」の割合が高くなっています。なお、特徴的なところでは、[南部1]で「他の町会等との繋がりや交流がない」や「市以外からの依頼事項が多い」が、他の圏域に比べ、高くなっています。＜その他＞は、[中央2]と南部圏域で「町会等のあるべき姿が見えない」が1割台と、他の圏域に比べ、高くなっています。

単位：％		合計	孤立（単身）世帯への対応が難しい	個人情報の取り扱いが難しい	相談やトラブル対応が難しい	ふるさと協議会の役職・業務等の負担が大きい	市からの依頼事項が多い	他の町会等と繋がりや交流がない	市以外からの依頼事項が多い	町会等のあるべき姿が見えない	町会等の必要性を感じない	その他
合 計		205	29.3	25.4	7.3	33.2	16.6	13.7	5.4	9.8	4.9	3.4
日常生活圏域別	北部1	29	31.0	31.0	3.4	17.2	24.1	10.3	6.9	3.4	0.0	0.0
	北部2	34	20.6	17.6	2.9	32.4	14.7	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0
	中央1	17	35.3	29.4	11.8	35.3	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9
	中央2	37	32.4	18.9	5.4	32.4	16.2	13.5	0.0	16.2	8.1	8.1
	南部1	44	29.5	25.0	11.4	52.3	20.5	20.5	13.6	15.9	6.8	4.5
	南部2	17	17.6	35.3	5.9	35.3	11.8	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9
	沼南	20	40.0	40.0	15.0	20.0	15.0	20.0	5.0	5.0	0.0	0.0

(問7で課題と感じていることについておたずねします。)

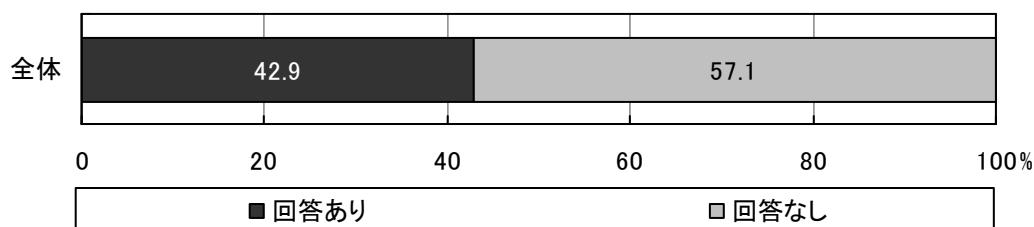
問7-1 既に課題解決に向けて、積極的に取り組まれていることはありますか。

また、どんな取り組みをしていますか。(ご自由にお書きください)

205 件のうち、88 件の記入がありました。「活動内容について」の取り組みが多く、次いで「町会等の運営について」や「町会等の役員について」の取り組みが多くなっています。

なお、主な意見は下記のとおりです。

問7-1 (自由回答) n=205



■町会等の運営について(19 件)

町会会館の設立準備／名簿の作成／町会の法人化／町会運営を職務として遂行する使命感を持つ／町会加入の働きかけの実施（チラシの配布、再加入者への勧誘）／情報提供・情報交換の実施（ミニ情報誌の作成、自治会活動説明用のビラの作成、町会運営の透明化、活動報告の作成）／引き継ぎや回覧物配布時の声かけ活動／女性目線の町会運営に変更

■町会等の役員について(15 件)

役員の輪番制を取る／回覧による役員募集／役員の自薦・他薦制度の導入／役員の負担軽減を図る（町会業務の負担軽減、業務分散の検討、会議時間の短縮、对外活動の減少、会長職の固定化により、班長の負担軽減）／役員引き継ぎ事項のマニュアル作成／引き継ぎ会の実施／役員向けのアンケート調査の実施

■活動内容について(34 件)

町会活動の実施（草取り・大掃除、話し合いの開催）／災害時への備え（井戸の調査、自主防災組織のメンバーの任期延長、K-net の構築、災害時の安否確認に向けて管理組合との花再）／交流活動の実施（集会所の開放、縁日や餅つきなど誰でも参加しやすいイベントの実施、多世代間の交流、防災訓練や炊き出し訓練のイベント化）／孤立世帯への行事参加の呼びかけ／マンションでの取り組み（同じ階同士の交流・サークル活動などへの助成金、出産祝いの贈呈）／行事中心の活動から、安心安全の維持向上へ変更

■困難事例等について(1件)

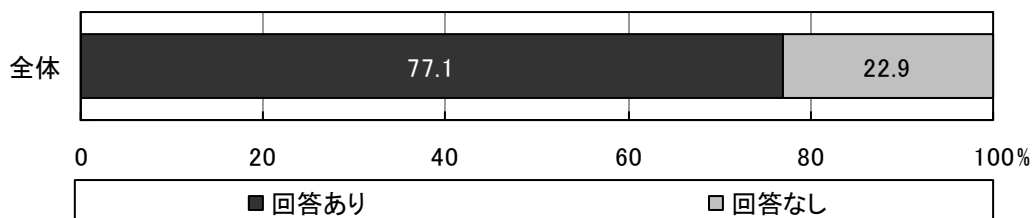
役員の連携による問題点の早期解決

問8 町会等の大切な役割を一言で言うとはだと思いませんか。（ご自由にお書きください）

205 件のうち、158 件の記入がありました。「つながりづくり」や「まちづくり」、「支えあい・助けあい」等、近隣の関係づくりや共助の取組みを大切する回答が多くなっています。

なお、主な意見は下記のとおりです。

問8（自由回答）n=205

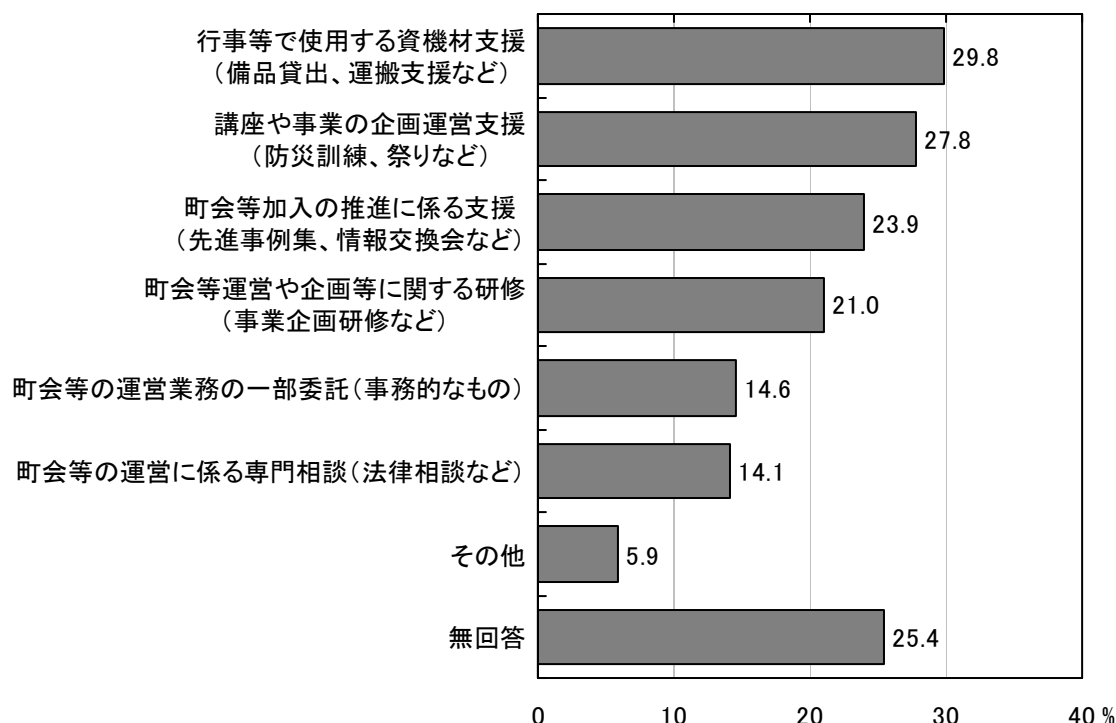


■地域のつながりづくり(68 件)
挨拶をする／町会員のつながりづくり／地域の親睦を深める／コミュニケーションを図る／地域の絆／地域の連携づくり
■安心安全なまちづくり(22 件)
安全で安心して生活できるまちづくり／災害時の共助
■支えあい・助けあい(共助)(26 件)
近隣の助けあい／共助／ふれあい、支えあい、助けあい
■住み良い地域づくり(17 件)
住み良い地域社会づくり／環境にやさしく、高齢者や子どもに安全なまちづくり／地域で生活していることの幸せを感じてもらうようなまちづくり
■行政との関係(6件)
行政の下請け／公と私のつなぎ役／役所の連絡役／市役所のお手伝い
■町会の運営(6件)
町会の運営／自治会員の意思疎通と相互交流／町会員と役員の信頼の架け橋になる／住民に対する誠意と信頼、公明正大な運営
■その他(13 件)
信頼／地域還元／地域の人たちが何をしてもらいたいかを見極め、情報共有する／真剣に考えたらきりが無い／ボランティア活動／町会の成り立ちにより事情が違うので、必要ないところもある／自治意識を促す／社会貢献、権利と義務の実行

問9 町会等の運営や活動に関して、あるとよいと思うものはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

町会等の運営や活動に関して、あるとよいと思うものについては、「行事等で使用する資機材支援（備品貸出、運搬支援など）」が29.8%と最も多く、次いで「講座や事業の企画運営支援（防災訓練、祭りなど）」が27.8%、「町会等加入の推進に係る支援（先進事例集、情報交換会など）」が23.9%となっています。

問9（複数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／回答者の年代別／回答者の就任年数別／住宅特性別）

日常生活圏域別にみると、[北部1]、[北部2]、[中央1]で「行事等で使用する資機材支援」、[中央2]で「町会等運営や企画等に関する研修」、[南部1]、[南部2]、[沼南]で「講座や事業の企画等に関する研修」がそれぞれ最も高くなっています。

回答者の年代別にみると、年代によって求めている支援が異なります。

回答者の就任年数別にみると、1～2年目で「行事等で使用する資機材支援」、[3年目]で「講座や事業の企画等に関する研修」、4年目以上で「町会等加入の推進に係る支援」が最も多くなっています。

住宅特性別にみると、賃貸住宅が含まれる住宅特性で「町会等加入の推進に係る支援」の回答割合が高くなっています。

単位：%		合計	行事等で使用する資機材支援	講座や事業の企画運営支援	町会等加入の推進に係る支援	修画等に関する研究	町会等運営や業務の一部委託	町会等の運営に係る専門相談	その他	無回答
合 計		205	29.8	27.8	23.9	21.0	14.6	14.1	5.9	25.4
日常生活圏域別	北部1	29	34.5	24.1	31.0	27.6	13.8	6.9	3.4	24.1
	北部2	34	32.4	23.5	17.6	20.6	17.6	20.6	5.9	23.5
	中央1	17	29.4	23.5	23.5	17.6	11.8	17.6	11.8	29.4
	中央2	37	29.7	32.4	29.7	40.5	10.8	8.1	13.5	24.3
	南部1	44	25.0	27.3	25.0	9.1	20.5	20.5	4.5	29.5
	南部2	17	23.5	29.4	29.4	17.6	5.9	11.8	0.0	17.6
	沼南	20	40.0	45.0	15.0	15.0	15.0	10.0	0.0	15.0
回答者の年代別	40 歳未満	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7
	40 歳代	11	36.4	27.3	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	27.3
	50 歳代	20	25.0	15.0	10.0	15.0	25.0	30.0	0.0	20.0
	60 歳代	94	28.7	23.4	26.6	19.1	11.7	12.8	4.3	29.8
	70 歳代	59	32.2	35.6	25.4	25.4	13.6	11.9	8.5	20.3
	80 歳以上	8	37.5	37.5	50.0	50.0	12.5	0.0	12.5	12.5
回答者の就任年数	1 年目	91	30.8	23.1	16.5	15.4	13.2	18.7	5.5	28.6
	2 年目	31	35.5	32.3	29.0	22.6	19.4	12.9	3.2	19.4
	3 年目	18	22.2	38.9	16.7	33.3	16.7	16.7	5.6	16.7
	4 年目	15	26.7	6.7	33.3	20.0	6.7	0.0	6.7	33.3
	5 年以上	43	27.9	32.6	37.2	25.6	14.0	7.0	7.0	27.9
住宅特性別	戸建住宅中心	106	33.0	29.2	20.8	19.8	16.0	11.3	5.7	23.6
	戸建住宅と分譲マンション(団地)中心	15	13.3	26.7	26.7	13.3	6.7	20.0	6.7	33.3
	戸建住宅と賃貸住宅中心	32	34.4	25.0	43.8	40.6	12.5	9.4	0.0	28.1
	分譲マンション(団地)中心	33	36.4	36.4	18.2	18.2	18.2	27.3	6.1	15.2
	分譲マンション(団地)と賃貸住宅中心	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
	賃貸住宅中心	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	その他(商業施設中心等)	6	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7

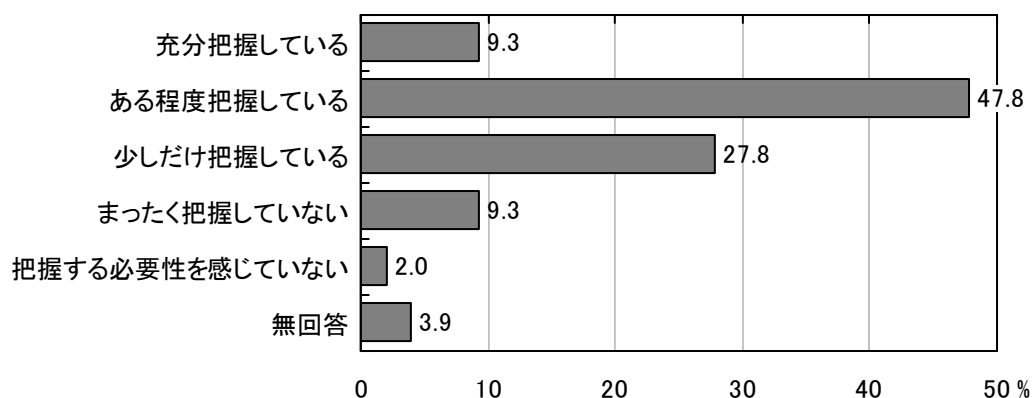
Ⅱ. 日常生活の支援についておたずねします。

問 10 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人を把握していますか。
(ひとつだけ○)

日常生活で支援を必要とする人を把握しているかについては、「ある程度把握している」が47.8%と最も多く、次いで「少しだけ把握している」が27.8%、「充分把握している」と「まったく把握していない」が9.3%となっています。

一方、「把握する必要性を感じていない」が2.0%となっています。

問10 (単数回答) n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／住宅特性別）

日常生活圏域別にみると、[北部1]で「少しだけ把握している」、それ以外の圏域で「ある程度把握している」が最も多くなっています。また、[北部1]、[中央1]、[沼南]で「まったく把握していない」が1割を超えています。

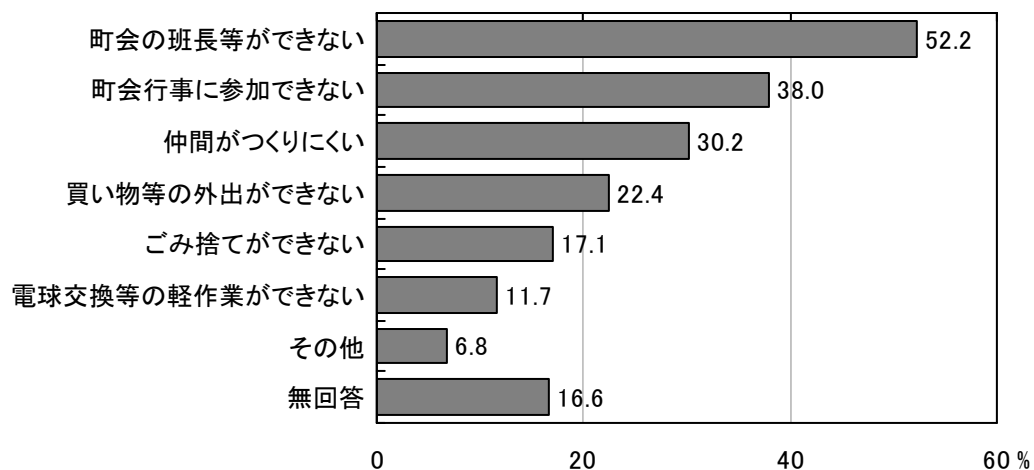
住宅特性別にみると、[賃貸住宅中心]を除くすべての住宅で「ある程度把握している」が最も多くなっています。その中でも、戸建住宅を含む住宅特性で把握している割合が高くなっています。一方、[賃貸住宅中心]では、件数が少ないものの「まったく把握していない」が40.0%と、他の住宅特性に比べ、高くなっています。

単位：%		合計	充分把握している	ある程度把握している	少しだけ把握している	まったく把握していない	把握する必要性を感じていない	無回答
合 計		205	9.3	47.8	27.8	9.3	2.0	3.9
日常生活圏域別	北部1	29	13.8	31.0	37.9	13.8	0.0	3.4
	北部2	34	5.9	52.9	29.4	8.8	0.0	2.9
	中央1	17	11.8	41.2	23.5	17.6	5.9	0.0
	中央2	37	13.5	56.8	16.2	5.4	5.4	2.7
	南部1	44	11.4	45.5	29.5	9.1	2.3	2.3
	南部2	17	5.9	52.9	29.4	0.0	0.0	11.8
	沼南	20	0.0	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0
住宅特性別	戸建住宅中心	106	11.3	52.8	27.4	3.8	0.9	3.8
	戸建住宅と分譲マンション(団地)中心	15	6.7	40.0	33.3	6.7	0.0	13.3
	戸建住宅と賃貸住宅中心	32	12.5	40.6	31.3	12.5	3.1	0.0
	分譲マンション(団地)中心	33	3.0	42.4	33.3	18.2	0.0	3.0
	分譲マンション(団地)と賃貸住宅中心	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	賃貸住宅中心	5	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	その他(商業施設中心等)	6	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0

問 11 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人は、普段どんなことに困っていると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

日常生活で支援を必要とする人は、普段どんなことに困っていると思うかについては、「町会の班長等ができない」が52.2%と最も多く、次いで「町会行事に参加できない」が38.0%、「仲間がつくりにくい」が30.2%となっています。

問11（複数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／支援を必要とする人の把握状況別）

日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「町会の班長等ができない」が最も多くなっています。[沼南]では「町会行事に参加できない」も最も多くなっています。また、[南部2]で「仲間がつくりにくい」、[中央2]で「買い物等が外出できない」が他の圏域に比べて割合が高くなっています。

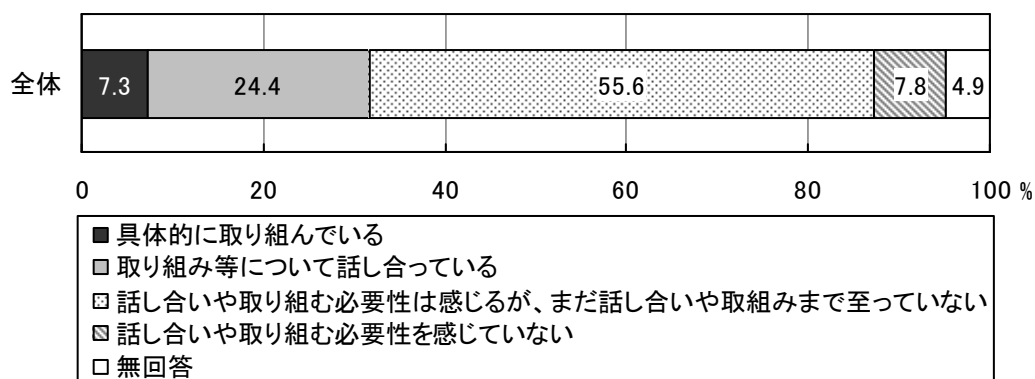
支援を必要とする人の把握状況別にみると、[把握する必要性を感じていない]で「その他」が、それ以外の状況で「町会の班長等ができない」が最も多くなっています。

単位：%		合計	い 等 が で き な い	町 会 の 班 長	い 参 加 で き な い	町 会 行 事 に	仲 間 が つ く り に く い	外 出 が で き な い	買 い 物 等 の	電 球 交 換 等 の 軽 作 業 が で き な い	電 球 交 換 等	き な い ご み 捨 て が で き な い	そ の 他	無 回 答
合 計		205	52.2	38.0	30.2	22.4	11.7	17.1	6.8	16.6				
日常生活圏域別	北部1	29	48.3	37.9	27.6	13.8	3.4	3.4	6.9	20.7				
	北部2	34	58.8	32.4	35.3	23.5	17.6	17.6	5.9	8.8				
	中央1	17	58.8	29.4	35.3	17.6	5.9	5.9	11.8	11.8				
	中央2	37	43.2	37.8	27.0	32.4	18.9	29.7	8.1	18.9				
	南部1	44	63.6	40.9	27.3	25.0	6.8	20.5	4.5	11.4				
	南部2	17	52.9	47.1	41.2	23.5	5.9	29.4	5.9	5.9				
	沼南	20	40.0	40.0	15.0	10.0	15.0	5.0	5.0	40.0				
支援を必要とする人の把握状況別	充分把握している	19	36.8	36.8	15.8	21.1	10.5	21.1	10.5	31.6				
	ある程度把握している	98	60.2	46.9	35.7	25.5	13.3	19.4	5.1	10.2				
	少しだけ把握している	57	54.4	33.3	24.6	22.8	14.0	15.8	5.3	14.0				
	まったく把握していない	19	42.1	15.8	36.8	10.5	0.0	10.5	10.5	21.1				
	把握する必要性を感じていない	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0				

問 12 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人への支援について、どのように考えていますか。(ひとつだけ○)

日常生活で支援を必要とする人への支援について、どのように考えているかについては、「話し合いや取り組む必要性を感じるが、まだ話し合いや取り組みまで至っていない」が55.6%と最も多く、次いで「取り組み等について話し合っている」が24.4%、「話し合いや取り組む必要性を感じていない」が7.8%となっています。

問12 (単数回答) n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／支援が必要な人の把握状況別）

日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「話し合いや取り組む必要性は感じるが、まだ話し合いや取り組みまで至っていない」が最も多くなっています。また、[北部1]、[中央2]、[南部2]で「具体的に取り組んでいる」、[中央1]と「中央2」で「話し合いや取り組む必要性を感じていない」が1割強と他の圏域に比べて割合が高くなっています。

支援を必要とする人の把握状況別にみると、[充分把握している]では、[具体的に取り組んでいる]や[取り組み等について話し合っている]の割合が高く、[把握する必要性を感じていない]では、[話し合いや取り組む必要性を感じていない]が高くなっています。

また、[充分把握している]で「具体的に取り組んでいる」が31.6%と他の状況に比べて割合が高くなっています。

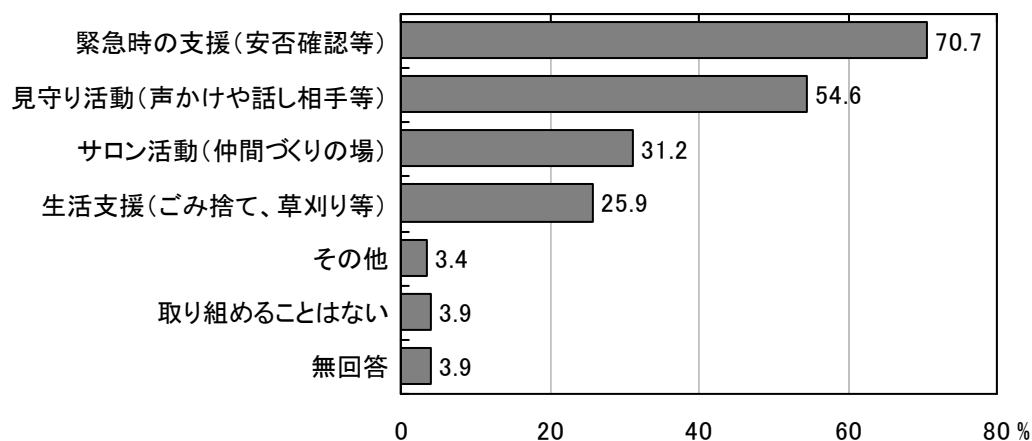
単位：%		合計	具体的に 取り組 んでいる	取り組 み等につ いて話し 合っている	話し合 いや取 組む必 要性は 感じる が、ま だ話し 合 いや取 組みま で至 ってい ない	話し合 いや取 組む 必要 性を 感じ てい ない	無回 答
合 計		205	7.3	24.4	55.6	7.8	4.9
日常生活圏域別	北部1	29	10.3	20.7	58.6	0.0	10.3
	北部2	34	5.9	20.6	64.7	5.9	2.9
	中央1	17	0.0	17.6	64.7	17.6	0.0
	中央2	37	10.8	32.4	40.5	13.5	2.7
	南部1	44	9.1	22.7	59.1	4.5	4.5
	南部2	17	11.8	29.4	52.9	0.0	5.9
	沼南	20	0.0	35.0	55.0	5.0	5.0
支援を必要とする人の把握状況別	充分把握している	19	31.6	36.8	21.1	5.3	5.3
	ある程度把握している	98	8.2	28.6	53.1	7.1	3.1
	少しだけ把握している	57	1.8	19.3	77.2	1.8	0.0
	まったく把握していない	19	0.0	10.5	68.4	15.8	5.3
	把握する必要性を感じていない	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0

問 13 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人に対して、今後どのようなことに取り組めそうだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

町会等で、日常生活で支援を必要とする人に対して、今後取り組めそうなことについては、「緊急時の支援（安否確認等）」が70.7%と最も多く、次いで「見守り活動（声かけや話し相手等）」が54.6%、「サロン活動（仲間づくりの場）」が31.2%となっています。

一方、「取り組めることはない」との回答が3.9%となっています。

問13（複数回答） n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／支援を必要とする人の把握状況別／支援を必要とする人への取り組み状況別）

日常生活圏域別にみると、全体の結果と同様の傾向となっていますが、[北部1]で「生活支援（ごみ捨て、草刈り等）」が1割強、[北部2]で「サロン活動（仲間づくり）」が2割弱と他の圏域に比べて割合が低くなっています。また、[中央1]で「取り組めることはない」が1割強と他の圏域に比べて割合が高くなっています。

支援を必要とする人の把握状況別にみると、[充分把握している]で「見守り活動（声かけや話し相手等）」、それ以外の状況で「緊急時の支援（安否確認等）」が最も多くなっています。また、件数は少ないものの[把握する必要性を感じていない]で「取り組めることはない」が25.0%となっています。

支援を必要とする人への取り組み状況別にみると、すべての状況で「緊急時の支援（安否確認等）」が最も多くなっています。また、[具体的に取り組んでいる]では、「見守り活動（声かけや話し相手等）」も最多の回答となっています。

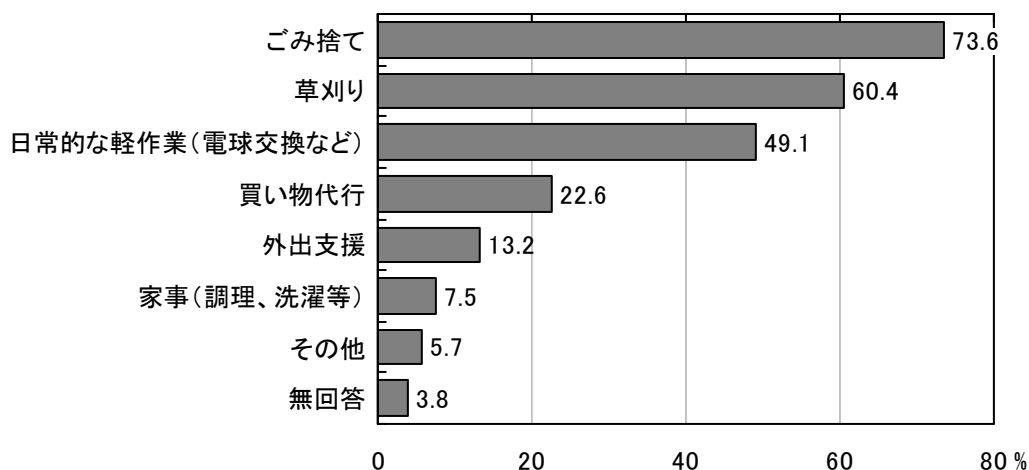
単位：%		合計	緊急時の支援（安否確認等）	見守り活動（声かけや話し相手等）	サロン活動（仲間づくりの場）	生活支援（ごみ捨て、草刈り等）	その他	取り組めることはない	無回答
合 計		205	70.7	54.6	31.2	25.9	3.4	3.9	3.9
日常生活圏域別	北部1	29	55.2	51.7	34.5	10.3	3.4	3.4	10.3
	北部2	34	76.5	52.9	17.6	29.4	2.9	2.9	2.9
	中央1	17	76.5	58.8	35.3	29.4	0.0	11.8	0.0
	中央2	37	73.0	54.1	35.1	24.3	8.1	5.4	0.0
	南部1	44	72.7	56.8	36.4	29.5	2.3	2.3	2.3
	南部2	17	70.6	64.7	41.2	35.3	0.0	0.0	5.9
	沼南	20	90.0	50.0	20.0	30.0	0.0	0.0	5.0
支援を必要とする人の把握状況別	充分把握している	19	63.2	68.4	36.8	21.1	0.0	0.0	10.5
	ある程度把握している	98	76.5	66.3	34.7	27.6	2.0	2.0	2.0
	少しだけ把握している	57	78.9	45.6	29.8	24.6	5.3	5.3	0.0
	まったく把握していない	19	52.6	31.6	21.1	36.8	5.3	5.3	5.3
	把握する必要性を感じていない	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
支援を必要とする人への取り組み状況別	具体的に取り組んでいる	15	66.7	66.7	46.7	33.3	6.7	0.0	6.7
	取り組み等について話し合っている	50	84.0	64.0	34.0	36.0	4.0	2.0	0.0
	話し合いや取り組む必要性は感じるが、まだ話し合いや取り組みまで至っていない	114	75.4	57.9	30.7	23.7	3.5	2.6	0.0
	話し合いや取り組む必要性を感じていない	16	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0

(問 13 で「1. 生活支援」と回答された方におたずねします。)

問 13-1 具体的には、どのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

具体的な取り組み内容については、「ごみ捨て」が73.6%と最も多く、次いで「草刈り」が60.4%、「日常的な軽作業（電球交換など）」が49.1%となっています。

問13-1 (複数回答) n=53



■クロス集計（日常生活圏域別）

日常生活圏域別にみると、[北部2]で「日常的な軽作業（電球交換など）」、[南部1]で「草刈り」、それ以外の圏域で「ごみ捨て」が最も多くなっています。

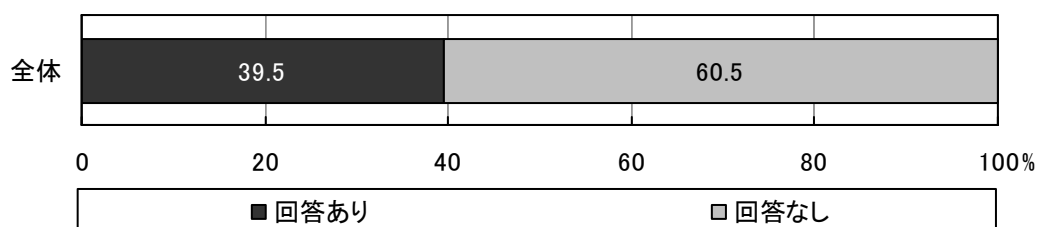
単位：%		合計	ごみ捨て	草刈り	日常的な軽作業(電球交換など)	買い物代行	外出支援	家事(調理、洗濯等)	その他	無回答
合 計		53	73.6	60.4	49.1	22.6	13.2	7.5	5.7	3.8
日常生活圏域別	北部1	3	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北部2	10	70.0	60.0	80.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	中央1	5	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	中央2	9	77.8	66.7	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
	南部1	13	53.8	69.2	38.5	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7
	南部2	6	100.0	66.7	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0
	沼南	6	83.3	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

問 14 町会等が、日常生活で支援を必要とする人へ支援活動を行うとしたとき、町会等に対して、どんな支援があると進めやすいと思いますか。（ご自由にお書きください）

205 件のうち、81 件の記入がありました。情報等に関する支援を求める意見が多くありました。また、一方で、町会等での日常生活支援が困難という意見も多くありました。

なお、主な意見は下記のとおりです。

問14（自由回答）n=205



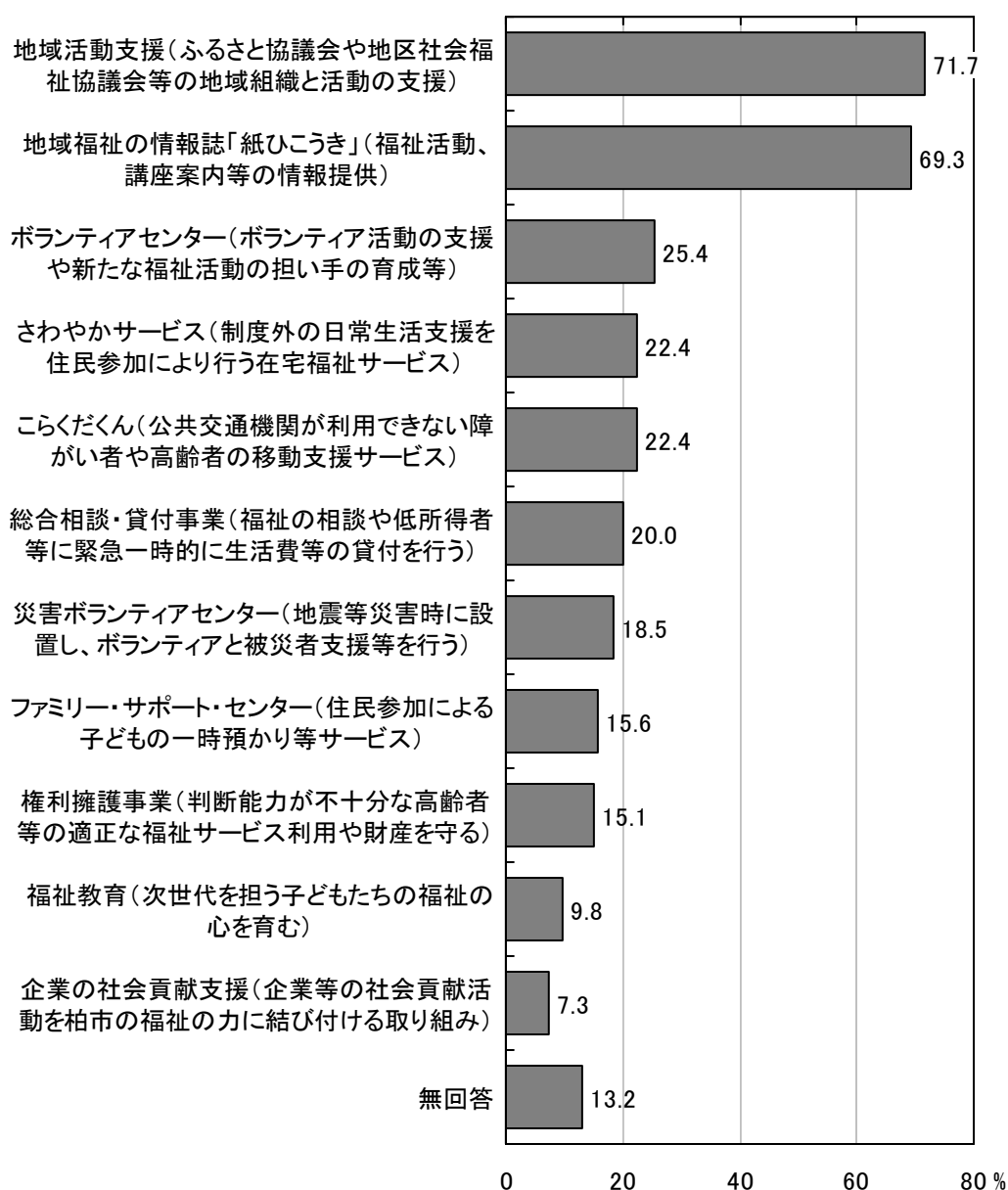
■情報提供(16 件)
成功事例の情報提供／K-net の分かりやすいパンフレット／支援方法のマニュアル／講習会や研修会の実施
■支援は困難である(14 件)
町会が個人の生活を支援することは難しい／支援が必要な人を支援するのは、行政や社協の仕事であるため、直接支援する仕組みを考えてほしい／町会で支援をすると嫌がられる／支援者を募るのが難しい／町会活動で手一杯である
■個人情報について(11 件)
個人情報の一部公開／支援対象者の明確化／個人情報の壁を低くする／民生委員の持っている情報の提供／マンションの情報は町会では分からない
■金銭面・資機材の支援(9件)
金銭面の支援／無償では難しいので、活動に必要な資機材の提供
■人材の確保・育成・派遣(9件)
ボランティアの育成／行政からの組織的な支援／アドバイザーの派遣／若い人の協力／ボランティアを町会内外から募る（方法提供と人材育成）
■関係組織との連携(7件)
民生委員、健康づくり推進員、生活支援員、社協、行政と町会との連携
■地域の体制づくり(3件)
生活支援グループを町会内に立ち上げる／向こう三軒両隣の体制づくり
■その他(12 件)
ホームヘルパーの知識、体験／未加入者への対応／具体的な相談ができる課／困難事例への対応／行政が支援できることはない

Ⅲ. 柏市社会福祉協議会（市社協）についておたずねします。

問 15 市社協では、現在、主に次のような取り組みをしています。知っている取り組みは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

知っている市社協の取り組みについては、「地域活動支援（ふるさと協議会や地区社会福祉協議会等の地域組織と活動の支援）」が71.7%と最も多く、次いで「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』（福祉活動、講座案内等の情報提供）」が69.3%、「ボランティアセンター（ボランティア活動の支援や新たな福祉活動の担い手の育成等）」が25.4%となっています。

問15（複数回答） n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／回答者の年代別／回答者の就任年数別）

日常生活圏域別にみると、[中央1]、[中央2]で「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」、それ以外の圏域で「地域活動支援」が最も多くなっています。また、[南部1]と[沼南]では「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」も最も多くなっています。

回答者の年代別にみると、[40歳未満]、[80歳以上]で「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」が、50～70歳代で「地域活動支援」、[40歳代]で「地域活動支援」と「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」が最も多くなっています。

回答者の就任年数別にみると、1～2年目で「地域活動支援」、3～4年目で「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」、[5年以上]で「地域活動支援」と「地域福祉の情報誌『紙ひこうき』」が最も多くなっています。

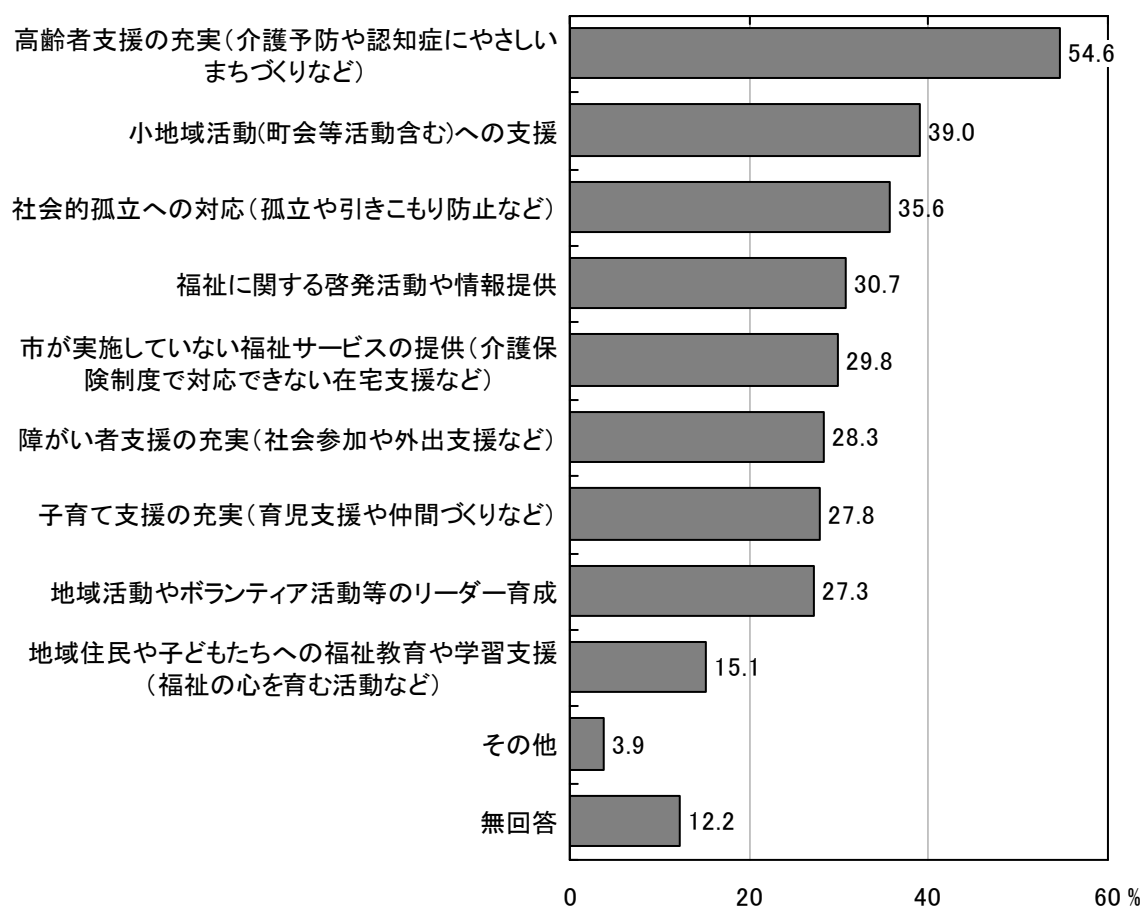
回答者の年代が高いほど、また、就任年数が高いほど、各事業の認知度は高くなる傾向にあります。

単位：%		合計	地域活動支援	地域福祉の情報誌「紙ひこうき」	ボランティアセンター	さわやかサービス	こらくだくん	総合相談・貸付事業	災害ボランティアセンター	ファミリー・サポート・センター	権利擁護事業	福祉教育	企業の社会貢献支援	無回答
合 計		205	71.7	69.3	25.4	22.4	22.4	20.0	18.5	15.6	15.1	9.8	7.3	13.2
日常生活圏域別	北部1	29	79.3	65.5	17.2	13.8	13.8	13.8	13.8	6.9	10.3	0.0	3.4	13.8
	北部2	34	67.6	55.9	29.4	23.5	26.5	17.6	20.6	14.7	20.6	8.8	14.7	14.7
	中央1	17	64.7	70.6	35.3	29.4	29.4	35.3	23.5	35.3	29.4	11.8	11.8	23.5
	中央2	37	70.3	78.4	29.7	35.1	32.4	27.0	24.3	27.0	21.6	16.2	13.5	5.4
	南部1	44	70.5	70.5	20.5	15.9	15.9	13.6	9.1	9.1	4.5	11.4	0.0	13.6
	南部2	17	82.4	76.5	23.5	23.5	23.5	23.5	29.4	11.8	17.6	5.9	5.9	5.9
	沼南	20	80.0	80.0	30.0	20.0	25.0	20.0	15.0	15.0	15.0	15.0	5.0	10.0
回答者の年代別	40歳未満	6	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	40歳代	11	63.6	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0	27.3
	50歳代	20	80.0	70.0	45.0	25.0	20.0	20.0	30.0	20.0	20.0	15.0	5.0	10.0
	60歳代	94	70.2	67.0	17.0	18.1	22.3	17.0	11.7	11.7	11.7	8.5	7.4	18.1
	70歳代	59	81.4	78.0	37.3	32.2	28.8	27.1	32.2	20.3	22.0	10.2	8.5	3.4
	80歳以上	8	50.0	75.0	37.5	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5
回答者の就任年数	1年目	91	70.3	68.1	24.2	19.8	18.7	15.4	13.2	16.5	12.1	7.7	4.4	14.3
	2年目	31	77.4	61.3	19.4	9.7	25.8	16.1	16.1	9.7	16.1	9.7	0.0	6.5
	3年目	18	77.8	88.9	22.2	27.8	22.2	27.8	27.8	5.6	11.1	16.7	5.6	11.1
	4年目	15	66.7	80.0	26.7	26.7	26.7	26.7	13.3	33.3	13.3	13.3	13.3	13.3
	5年以上	43	72.1	72.1	34.9	34.9	25.6	30.2	32.6	16.3	23.3	11.6	18.6	16.3

問 16 市社協に今後、特に期待する施策はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、市社協に特に期待する施策については、「高齢者支援の充実（介護予防や認知症にやさしいまちづくりなど）」が54.6%と最も多く、次いで「小地域活動（町会等活動含む）への支援」が39.0%、「社会的孤立への対応（孤立や引きこもり防止など）」が35.6%となっています。

問16（複数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／回答者の年代別／回答者の就任年数別）

日常生活圏域別にみると、[中央1]で「福祉に関する啓発活動や情報提供」、[中央2]で「小地域活動（町会等活動含む）への支援」、それ以外の圏域で「高齢者支援の充実」がそれぞれ最も多くなっています。また、[北部2]と[沼南]で「障がい者支援の充実」、[中央2]で「子育て支援の充実」、[沼南]で「社会的孤立への対応」、[北部2]、[南部2]、[沼南]で「市が実施していない福祉サービスの提供」が、それぞれ他の圏域に比べて割合が高くなっています。

回答者の年代別にみると、[40歳未満]と[40歳代]で「子育て支援の充実」、[50歳代]で「高齢者支援の充実」と「障がい者支援の充実」、60歳以上で「高齢者支援の充実」が最も多くなっています。

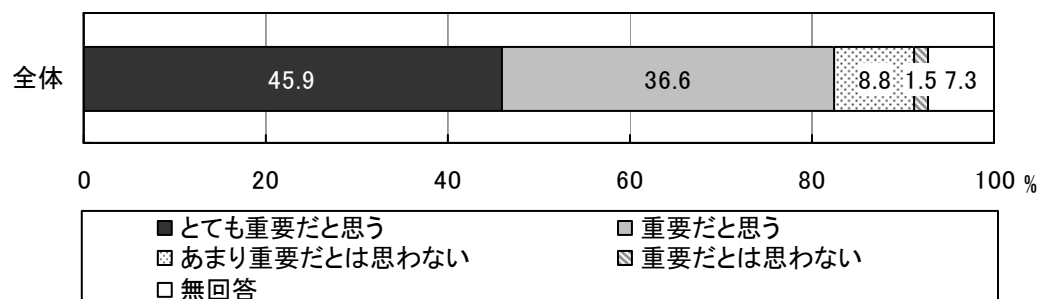
回答者の就任年数別にみると、1～2年目で「高齢者支援の充実」、[3年目]で「小地域活動（町会等活動含む）への支援」、[4年目]で「子育て支援の充実」、[5年以上]で「小地域活動（町会等活動含む）への支援」と「高齢者支援の充実」が最も多くなっています。

単位：%		合計	高齢者支援の充実	小地域活動（町会等活動含む）への支援	社会的孤立への対応	福祉に関する啓発活動や情報提供	市が実施していない福祉サービスの提供	障がい者支援の充実	子育て支援の充実	地域活動やボランティア活動等のリーダー育成	地域住民や子どもたちへの福祉教育や学習支援	その他	無回答
合 計		205	54.6	39.0	35.6	30.7	29.8	28.3	27.8	27.3	15.1	3.9	12.2
日常生活圏域別	北部1	29	55.2	34.5	34.5	27.6	13.8	24.1	31.0	37.9	13.8	3.4	13.8
	北部2	34	61.8	32.4	38.2	26.5	41.2	44.1	29.4	29.4	17.6	0.0	8.8
	中央1	17	29.4	35.3	17.6	52.9	23.5	23.5	29.4	29.4	11.8	11.8	5.9
	中央2	37	43.2	48.6	43.2	24.3	29.7	27.0	43.2	27.0	16.2	5.4	13.5
	南部1	44	61.4	38.6	29.5	34.1	27.3	20.5	15.9	22.7	15.9	4.5	18.2
	南部2	17	76.5	47.1	35.3	47.1	47.1	29.4	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0
	沼南	20	65.0	40.0	55.0	20.0	40.0	40.0	35.0	30.0	20.0	5.0	5.0
回答者の年代別	40歳未満	6	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	40歳代	11	27.3	18.2	36.4	18.2	18.2	9.1	45.5	36.4	18.2	9.1	0.0
	50歳代	20	45.0	20.0	40.0	20.0	40.0	45.0	25.0	25.0	10.0	10.0	20.0
	60歳代	94	55.3	37.2	35.1	28.7	29.8	30.9	22.3	28.7	12.8	4.3	16.0
	70歳代	59	64.4	59.3	39.0	40.7	33.9	23.7	30.5	27.1	20.3	1.7	5.1
	80歳以上	8	62.5	25.0	37.5	50.0	25.0	50.0	37.5	25.0	37.5	0.0	25.0
回答者の就任年数	1年目	91	54.9	29.7	36.3	27.5	30.8	27.5	23.1	33.0	11.0	5.5	12.1
	2年目	31	64.5	38.7	41.9	29.0	35.5	35.5	35.5	29.0	12.9	3.2	3.2
	3年目	18	50.0	72.2	44.4	33.3	33.3	22.2	27.8	11.1	22.2	0.0	11.1
	4年目	15	46.7	40.0	26.7	40.0	20.0	40.0	53.3	26.7	20.0	6.7	20.0
	5年以上	43	51.2	51.2	30.2	37.2	30.2	25.6	23.3	23.3	23.3	2.3	16.3

問 17 市社協では、今後さらに増える福祉課題に対応するため、近隣センター等を拠点とした身近な福祉の相談窓口の設置を進めています。このような取り組みについてどう思いますか。（ひとつだけ○） ※ 下記「参考」をご覧ください

身近な福祉の相談窓口の設置については、「とても重要だと思う」が45.9%、「重要だと思う」が36.6%と合わせて82.5%が『重要だと思う』と回答しています。

問17（単数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別／回答者の年代別／回答者の就任年数別）

日常生活圏域別にみると、[南部1]と[南部2]で「重要だと思う」、それ以外の圏域で「とても重要だと思う」が最も多くなっています。[中央2]では「重要だと思う」も最も多くなっています。また、[中央2]で「あまり重要だとは思わない」が23.5%と他の圏域に比べて割合が高くなっています。

回答者の年代別にみると、[40歳未満]と[70歳代]で「重要だと思う」、それ以外の年代で「とても重要だと思う」が最も多くなっています。

回答者の就任年数別にみると、[2年目]と4年以上で「とても重要だと思う」、[3年目]で「重要だと思う」、[1年目]で「とても重要だと思う」と「重要だと思う」が最も多くなっています。

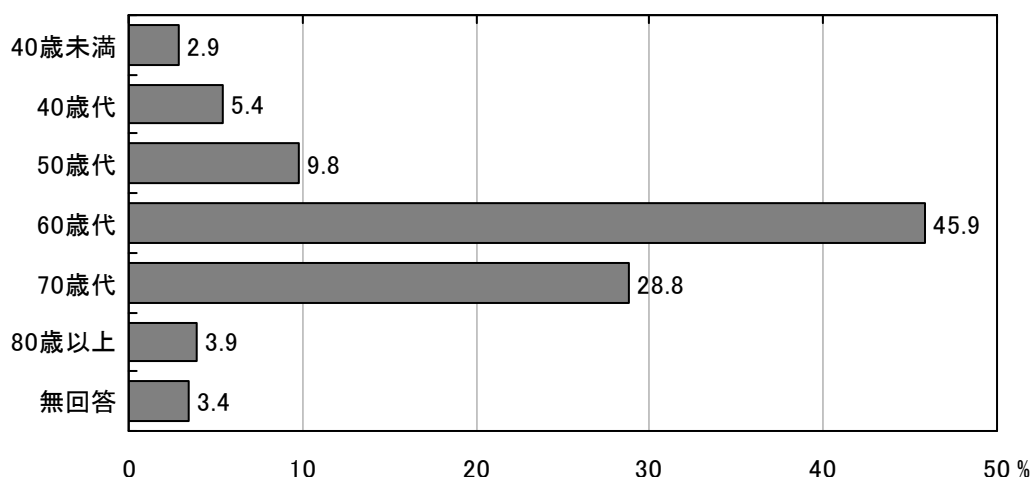
単位：%		合計	とても重要だと思う	重要だと思う	あまり重要だとは思わない	重要だとは思わない	無回答
合 計		205	45.9	36.6	8.8	1.5	7.3
日常生活圏域別	北部1	29	48.3	24.1	13.8	3.4	10.3
	北部2	34	58.8	26.5	8.8	0.0	5.9
	中央1	17	35.3	29.4	23.5	0.0	11.8
	中央2	37	40.5	40.5	10.8	0.0	8.1
	南部1	44	40.9	47.7	2.3	4.5	4.5
	南部2	17	35.3	52.9	5.9	0.0	5.9
	沼南	20	60.0	35.0	0.0	0.0	5.0
回答者の年代別	40歳未満	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	40歳代	11	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
	50歳代	20	60.0	25.0	5.0	5.0	5.0
	60歳代	94	43.6	34.0	10.6	2.1	9.6
	70歳代	59	40.7	44.1	10.2	0.0	5.1
	80歳以上	8	62.5	12.5	0.0	0.0	25.0
回答者の就任年数	1年目	91	42.9	42.9	8.8	1.1	4.4
	2年目	31	51.6	38.7	3.2	3.2	3.2
	3年目	18	22.2	55.6	11.1	5.6	5.6
	4年目	15	40.0	33.3	6.7	0.0	20.0
	5年以上	43	55.8	18.6	11.6	0.0	14.0

IV. 町会・自治会・区・管理組合の長についておたずねします。

問 18 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

回答者の年代については、「60 歳代」が 45.9%と最も多く、次いで「70 歳代」が 28.8%、「50 歳代」が 9.8%となっています。

問18 (単数回答) n=205



■クロス集計（日常生活圏域別）

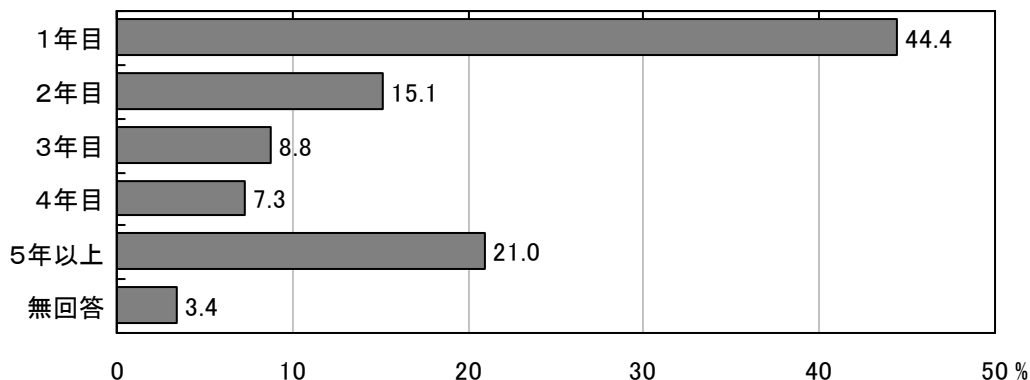
日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「60 歳代」が最も多くなっており、[中央2]と[南部2]では「70 歳代」も最も多くなっています。また、[南部1]で「40 歳代」と「50 歳代」が1 割台と他の圏域に比べて割合が高くなっています。また、[中央1]と[中央2]で「80 歳以上」の割合も1 割前後と高くなっています。

単位: %		合計	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
合 計		205	2.9	5.4	9.8	45.9	28.8	3.9	3.4
日常生活圏域別	北部1	29	0.0	6.9	3.4	51.7	24.1	6.9	6.9
	北部2	34	0.0	2.9	11.8	52.9	29.4	2.9	0.0
	中央1	17	0.0	0.0	5.9	52.9	23.5	11.8	5.9
	中央2	37	8.1	8.1	2.7	35.1	35.1	8.1	2.7
	南部1	44	0.0	11.4	15.9	43.2	25.0	0.0	4.5
	南部2	17	5.9	0.0	5.9	41.2	41.2	0.0	5.9
	沼南	20	5.0	0.0	20.0	45.0	30.0	0.0	0.0

問 19 あなたは現在、初めての就任から何年目ですか。（ひとつだけ○）

町会長等に始めて就任してから何年目かについては、「1年目」が44.4%と最も多く、次いで「5年以上」が21.0%、「2年目」が15.1%となっています。

問19（単数回答）n=205



■クロス集計（日常生活圏域別）

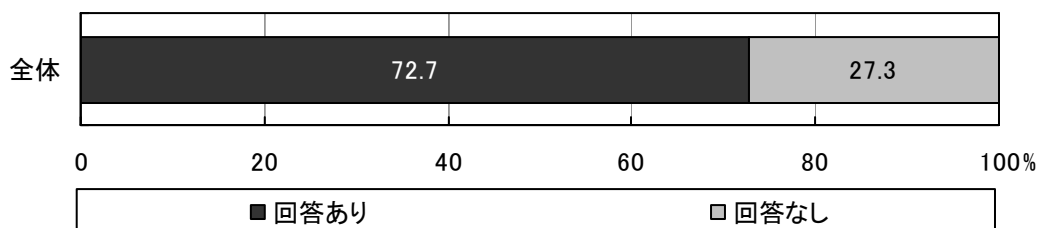
日常生活圏域別にみると、[中央1]と[中央2]で「5年以上」、[南部2]で「3年目」と「5年以上」、それ以外の圏域で「1年目」が最も多くなっています。

単位: %		合 計	1年目	2年目	3年目	4年目	5年以上	無回答
合 計		205	44.4	15.1	8.8	7.3	21.0	3.4
日常生活圏域別	北部1	29	41.4	13.8	10.3	10.3	17.2	6.9
	北部2	34	58.8	17.6	2.9	2.9	17.6	0.0
	中央1	17	17.6	0.0	5.9	29.4	41.2	5.9
	中央2	37	21.6	21.6	13.5	8.1	32.4	2.7
	南部1	44	68.2	11.4	4.5	2.3	9.1	4.5
	南部2	17	23.5	11.8	29.4	0.0	29.4	5.9
	沼南	20	40.0	30.0	5.0	10.0	15.0	0.0

問 20 町会・自治会・区・管理組合の長として、町会等の運営や活動で一番工夫していることはなんですか。（ご自由にお書きください）

205 件のうち、149 件の記入がありました。交流やコミュニケーションの強化、情報提供・交換・共有が高くなっています。なお、主な意見は下記のとおりです。

問20（自由回答）n=205



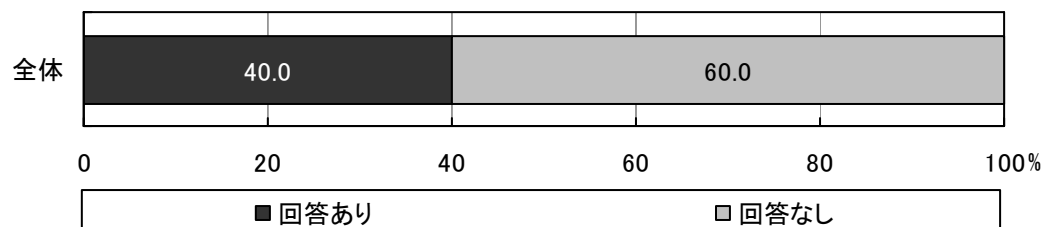
■交流活動・コミュニケーションの強化(46 件)
町会員が顔見知りになるような取り組み／新規町会員と既存町会員の交流／会員とのコミュニケーション／積極的な行事やイベントの実施／なるべく多くの人が参加できるようなイベントの企画・実施／積極的な声かけ／各団体との連携体制の構築／人材の発掘
■情報提供・交換・共有(27 件)
各区長との情報交換・情報共有／町会員の意見を聞く／町会活動や町会長の顔を町会員に周知する／町会経営の透明性の確保
■参画・参加意識の向上(17 件)
役員・区長の参加意識の向上／町会活動への参加意識の向上
■役割分担や平等・公正な運営(17 件)
スムーズな運営／役割分担の明確化／業務の標準化・会議時間の短縮／平等・公正で納得性の高い運営／引き継ぎをスムーズに行う／地域の合意を大切にする／自治力をつける
■生活環境の保全・災害対策等(7件)
マナー・ルールの遵守／災害時の対応／防犯対策／環境の変化への対応／安心・安全なまちづくり
■スピードのある運営(5件)
速やかにできることは行う／率先して動く
■責任感のある行動(3件)
人任せにしないで一生懸命に働いていることを見せる／各会員が責任を持って活動する／地区に任せるところは任せる
■その他(27 件)
高齢化が進み、活動に困っている／1 年の任期をつつがなく終える／積極的な活動はできない／役員間の人間関係を悪くしない・町会をなくさない

問 21 町会・自治会・区・管理組合の長として、福祉に関するどのような相談や悩みを受けたことがありますか。また、相談を受けて対応に困ったことはありますか。（ご自由にお書きください）

205 件のうち、82 件の記入がありました。回答なしが6割を占めています。

なお、主な相談内容や意見は下記のとおりです。

問21（自由回答）n=205

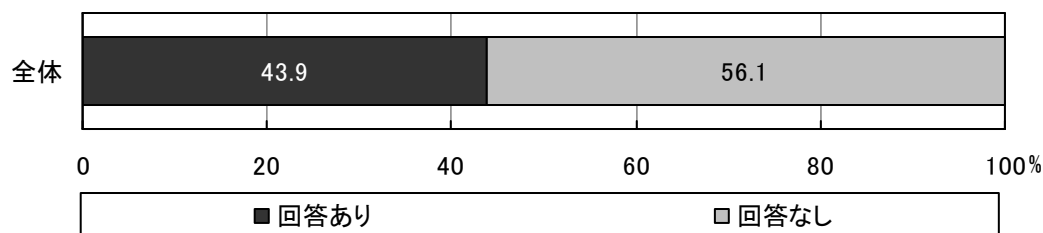


■高齢者について(10 件)
介護の問題／震災時の安否確認／施設への入所ができない／孤独死／高齢化への対応
■生活環境について(9件)
ごみについて／バリアフリーについて／雑草処理について／近隣とのトラブルについて
■独居の方に関すること(7件)
独居家族の防犯対策／独居の人の死亡／認知症と思われる方からの隣人とのトラブル／独居高齢者への対応／一人暮らし高齢者の見守りについて、どこまで踏み込んでよいか
■個人情報について(5件)
支援の必要性は感じるが、個人情報の壁が厚く支援を断られる／プライバシーにどこまで配慮したらよいか／K-net を推進するなかで、個人情報が厳しすぎる
■支援者について(3件)
支援者が集まらない
■場所について(3件)
福祉活動で使用する施設の無料化／軽運動できるグラウンドの確保／施設のバリアフリー
■役員が困難な人への支援(3件)
高齢者など、区の役員や班長が無理な方への支援
■民生委員などの推薦について(2件)
民生委員や健康づくり推進員の推薦が困難
■町会の運営(2件)
高齢化による町会の運営
■電話での相談(2件)
長い心配ごと相談／電話で助けてほしいとの連絡がある
■その他(14 件)
町会役員に福祉専任を置き、今以上の体制を取れないか／相談を受けた場合は、民生委員などにつないでいる／家庭内の問題／K-Net や障害での登録以外の人に対する対応
■特になし(22 件)
福祉の相談は町会長まで来ない／民生委員との情報交換を密にしている／受けたことはない

問 22 最後に住みよいまちづくりや柏市社会福祉協議会に対し、ご意見やご提案等
がございましたら、ご自由にお書きください。

205 件のうち、90 件の記入がありました。主な意見は下記のとおりです。

問22（自由回答）n=205



■町会のあり方について(17 件)

町会員がもっと町会運営に参画し、役員を引き受ける気持ちになってくれば、他に望むものがない。

町会自治会区、管理組合、それぞれ環境が違いますので、それに合った指導をお願いします。

地域に資するという点については、社協・ふる協・町会が同じスタンスを持たなければならないと思うが、現状はそれぞれが勝手な活動をしているように思う。基本は町会のあり方を明確にし、一般の生活者にわかりやすい活動をするのが大事だと思う。

民生児童委員の推薦を町会長に依頼してくるが、これに費やす時間はかなりのもの。どうにかできないでしょうか。健康づくり推進員が重なった時は、苦痛そのものです。提案をするなら、この作業を町会長から外してほしい。

1 年交代の自治会・町会に何を推進してもらいたいではなく、どうしたら福祉施策を推進できるか教えて欲しい。年に 1 回の市主催の会長会議(6 月 17 日)では不十分。あっという間に 1 年がおわってしまう。点検ではないけれどフォローアップしながら推進して欲しい。

町会・自治会の役員選出に当たっては現役(男女共)の割合が多いと一部の負担は大きく、結果、やる気が失せる。お年寄りのパワーをもっと有効に活用すべき。言われた事しかやらない輩が多すぎる。

町会の役員も高齢化で大変です。女性も男性も働いている人が多く、町会に積極的に協力する人が少ない。

町会の対応する(ボランティア活動という側面から)福祉活動を行政として、各町会ごとのボランティア活動としての可能範囲を掌握(アンケート等で情報収集)し、町会活動の限界等を把握し、町会ごとの違いに対する支援のあり方を検討してもらいたい

70 年以上の住民が多い世帯、絆等は深いのですが小人数につき対外活動は難しい。

役員任期 1 年の町会規約により、毎年度役員未経験の新人が多数役員に就任する。そこで町会運営の円滑遂行を期するため、総会議案書始め各種会議の資料・事業・行事の企画書等の作成を一人で行っている。また、事業・行事の実施企画策定においては、多数の方が参加されるように工夫し、実施においては率先垂範を心掛けている。

町会に対する支援・協力内容を具体的に教えて頂きたい。

地域の特性により、福祉等については関心が薄い。又、年々世帯数が増える一方である。マンション等では、町会加入はしないと言っているところがある。このような現状であるので、行政で対応してください。
町会の高年齢化が進み、今後の町会活動での組織的な支援が厳しくなる状況にある。
自分は今、町会長は2度目で、初めて町会長をしたのが15年前、その後、ふるさと協議会の役員等をやり、地区社協の総務部長を5年連続して行っていました。町会民の中には、町会は柏市の下部団体と言われ嫌な思いをすることが多々あります。町会長が嫌な思いをしないような、町会長が胸を張って町会長をやってよかったと言えるような状態に引き上げてもらいたい。
1.本来、市や社協が自分でやるべき事を、町会等に仕事を任せ過ぎているように思う。2.町会は、市の下請機関ではない。1年間町会の仕事をやってみて、特に感じたことである。
行政だけに頼る時代ではなくなった昨今、地域のようなコミュニティづくりに尽力いただきたい。
日常生活で支援を必要とする人ほど、町会班長等の負担を感じて、町会をやめる人が多い。
■社会福祉協議会の認知度について(8件)
柏市社会福祉協議会の実質仕事内容が、明確につたわってない。目的・目標を明確にしてPRしていただきたい。町会長に対し、年内の行事とか内容を明確に分かりやすく伝えていただきたい。
ご苦労さまです。社協の活動も見えないと一般の方には分かりません。何でも見える活動から認知され活用され広がるのだと思います
会費一世帯300円(計48万円)は多いと総会毎に質問が出るので、答えられる範囲で答えてはいるが、協議会さんに於いても、もっと宣伝活動、啓発活動にも力を入れてほしい。
社協の活動が良く分からない人が多いので、もっと広報活動や地域に密着した活動で、目に見えるものをして欲しい
正直、社協の活動って勉強不足でほとんどわかりません
除染作業など、積極的に取り組まれていることをアピールしてほしい。
柏市の各地ふるさと会館を利用して、福祉に関する啓発活動や、情報を町会(少なくとも定期的に実施している役員会)に来てもらい、福祉協議会を理解する必要があると思います。町会議員は、目的、意識はあまり知られていない。
地域の担当者に協議会部長のなごやかでいつ会っても話し合えることが必要。そこに協議会を理解してもらう
■情報提供について(7件)
書面による各種案内だけでなく、定期的に説明会や講演会を近隣センター等で行って欲しい(なお、その際、歩行等参加困難者が参加できる工夫(実験があるとよい))
全戸配布の広報紙等は、回覧にしてください。ほとんどの人(90%以上)は、取ってくれません。資源と予算のムダ使いはやめましょう。
もっと社会福祉協議会より、各町会・自治会に対して、福祉に関する啓発活動や情報提供をしていただけたら良いと思います。
大地震等の災害可能性：災害後の取組、効果等の情報提供を増やして欲しい。

してもら、してあげるの関係から、双方向の関係作りの構築と、必要な情報の迅速な提供と、その共有化を図る必要がある。
福祉に関する啓発活動や情報提供に力を入れていただきたい。(特に高齢者、障害者支援について)
地域の人達がここに住んで良かったと思える街づくりは、町会づくりをしっかりと、町会の中での人間関係を作ることによって身近になり、協力関係も得られると思う。地区社協が行っているサービスや活動が町会等に深く理解され、伝えられるようにしてほしい。情報提供等々。
■住み良いまちづくりについて(7件)
「住みよい」という意味が、時代により、人によりさまざまであるため、一つにまとめあげ、つくりあげるのはとてもむづかしいと感じている
家栄えて国栄える如く、まずひとり一人が自覚し、地区の団結をもって住みよいまちづくりに努力して欲しい。かつて、北の鎌倉と言われた手賀沼も7-スト1からようやく脱出したように、自然との共生をもって、明日の柏市発展を望みます。
住みやすい町会になるよう、協力をお願いします。
誰もがここで住むことが、うれしい、楽しいと思える地域となるよう、不断の努力が大切。
①柏市ばい捨て等防止条例及び柏市景観まちづくり条例がありますが、「住み良いまちづくり条例」の制定予定はありますか。②共同募金の目標額はいかがなものか。
安全、安心、心配事が少ない町内を目指しておりますので、協力をお願い致します。具体策は毎回考慮中です。企画等ではなく、毎日の細かな対応に追われております。
住み良いまち・・・子供たちが安全に遊べる、育児がしやすい、働き盛りの人が働ける場(職場)だけにいるのではなく、地域活動できる、心と時間のゆとりが持てる・・・。老人が外に出て安心な。公園・道路には歩道が。横断歩道手前では、道交法通り、車が停車する。とにかく、良いまちになってほしいし、したいと考えます。
■相談体制について(6件)
高齢化の進行にともない、「身近な相談」のできる相手として、これからも地道な活動を続けていただきたい。
当町会は高齢者が多いので、相談したくても近隣センターまで遠いので、出来れば福祉相談移動バスがあれば良いと思います
困った時に相談に伺うので、対応の方を宜しくをお願いしたい。
福祉活動の内容、相談を受ける窓口の場所、相談の仕方の宣伝。
町会活動の中で社会福祉に関する相談窓口として今後のご指導等お願い致します。
悩みがあったときに、気楽に相談できる態勢の整備

<p>■町会と社協の関係について(6件)</p>
<p>・法定組織である「民生委員・児童委員」の体制（福祉協議会も含め）と自治組織である町会・町会役員の体系の好ましいあり方を検討すべきではないか。特に市町村の段階において。・今日の日本における、新しい家族のあり方の論議を喚起し、好ましい家族のあり方が促されるような議論を先導すべきではないか（さもなくば、福祉協議会が第二行政機関化するのではないか）</p>
<p>社会福祉協議会の方々と、町会等の長との意見交換会が1回でもあったと、理解が深まってよい。</p>
<p>町会運営に市社協の関わりをもっと強くしたい</p>
<p>地区社協と町内会との関係がギクシャクしており、社会福祉協議会の福祉活動が団地内ではあまり見えてこない。外の行事をこなすのが協議会の役割ではなく、もっと積極的に居住者の福祉向上のために、自信を持ってそのノウハウを生かしてほしいし、町内会に働きかけて欲しい。このままでは、存立そのものに疑念を抱かれてしまう。また、ふるさと協議会の下部組織ではないはず。堂々と地域住民に密着した福祉活動に取り組んで欲しい。</p>
<p>社協で共同事業をし地域での先進的なコミュニティー事業等、地域にあった事業等を手助けする。</p>
<p>社福と町会が直接結びつく事がないので、寄付の時くらいで、意見や提案等は特にありませんが、町会内で寄付の集め方が悪いという意見がありました。</p>
<p>■高齢者について(4件)</p>
<p>ひきこもり高齢者をなくすことが地域活性化につながる。どうしたら高齢者が積極的に諸行事に参加できるか。</p>
<p>介護保険制度の利用の仕方が判らない高齢者が多い。個別に周知徹底が要。</p>
<p>民生委員がいますが、かなり多くの老人がいて、協議会の方も対応してもらいたい</p>
<p>高齢者が生き生きとして活躍できる場づくり（仕事又は役割を持ち、感謝される人として生きられる町づくり）</p>
<p>■社会福祉協議会のあり方について(4件)</p>
<p>老人と子供が元気な町は良い所だと考えている。そんな中で民生委員、健康づくり推進員及び町会の役割が大事である。但し民生委員、健康づくり推進員及び町会役員も活動に限度があり最終的には包括支援センター等、柏市及び社会福祉協議会に頼るしかないので今後ともよろしくをお願いします。</p>
<p>・平成24年度柏市の町会長会議での社協の活動についての説明があったが、（上部組織に対する説明ではなく）「町会の視点（地区によっても所属している町会員によっても異なる）に立った説明」をしようとする意志が全く感じられず、何をやっているのか殆ど理解できなかった。</p> <p>・町会として何が出来るかでなく「仕事として従事している」社協の組織職員が、もっと住民の中に入って、生の声を聞かなければ、本当に必要なことは解らないのではと思う。</p>
<p>（貴）協議会活動の事業について、社会的役割、そして使命などを考えますと、大いに諸施策活動について評価するものです。市民の中には、様々な人や意見があろうかと思いますが、自信をもって職務を遂行していただきたいと、陰ながら協力したいと思っています。</p>

<p>住みよい街づくりを考える時、また企画を立てる時、ひとりの考える頭脳では知れたものです。社会福祉協議会の頭脳を結集して企画物を提案しなければなりません。住みよい街づくりは、今まで通りの事業でよろしいのではないのでしょうか。ただ、それにもう少し肉を付けてやればよろしいのではないのでしょうか。会場を出てきた時の参加者の苦言を素早く取れること（例・・・クリスタルホールでの町会長会議、ステージ上の役員は舞台にいる必要なし）それに出席した町会の顔が見えないこと、連絡提案は人の目を見て話すことが実感として分かってくるもの</p>
<p>■ふる協と社協の関係について(3件)</p>
<p>地区では社協はふる協の部となっている。行事、その他が同じ様なものがある。会議等も多すぎる。市社協との関わりがいまいち分からない。</p>
<p>福祉は市社協一本化にしてほしい。※ふる協は、別組織活動と思う。</p>
<p>名前（社協）は知っているが、まだまだ活動が理解されていない。ふる協との関連も今一理解出来ない。さらに整理を図るべきだ。紙ひこうきだけの情報活動も不足している。掲示の活用や各町会役員向けの情報等を考えてみたらどうか。</p>
<p>■感想(3件)</p>
<p>御指導を宜しくお願いします。</p>
<p>色々な面で、心身へのストレスが多い仕事だと思います。これからもよろしくお願いいたします。</p>
<p>私達の目に付かないところで、色々と動いてくださっている社会福祉協議会に、大変感謝しています。ありがとうございます。</p>
<p>■アンケートについて(2件)</p>
<p>質問は慎重に選んだ方がいいです。考え方が軽いです。参考になるアンケートと思って”経費”をかけていますか？自分の足でもっと働いてください。応援しています。</p>
<p>こういうアンケートではなくて、地域支援隊との会合を、各町会と聞き、一つずつ解決していく事が重要</p>
<p>■支援組織の立ち上げについて(2件)</p>
<p>これからさらに高齢化が進んでいき、多くの高齢者所帯を抱えている町会として、生活支援が大きな問題です。それには、それぞれの善意に任せるのではなく、明確な独立した組織づくりが必要でないか。</p>
<p>町会には福祉に関係する部署は置いていない。社会福祉協議会の末端組織は地域のふるさと協議会となっている。従って町会の活動ではないので、町会内での関心が自ずと薄くなる。現在K-Netの組織も町会の自主防災組織の中に組み込むよう考えている。社会福祉協議会の最末端組織を町会に置くようにすれば如何だろうか。町会に「福祉部」なりを置き、ここで福祉関係を取り扱っていくことにすれば、いくらか町民の関心も高くなるではと考えますが如何。</p>
<p>■地域活動センターについて(2件)</p>
<p>松葉町地域活動センターはとてもよい。頑張ってください。</p>
<p>地域活動センターを布施の近隣センターに、可及的速やかに設置してもらいたい。</p>

■地域活動について(2件)
組織としての活動はPR等を含め活発に実施されているが現地での支援については全然といってよいほど手が差し伸べられているケースはない
出来ることを少しずつ地域に定着していく事だと思います。
■地区社会福祉協議会について(2件)
地区社協との連携を今後ともよろしくお願いします
柏市社協と地区社協との連携が見えづらい。ふる協と地区社協の一本化において、困難な状況にあり地域だけでは説得が難しい状況にあるので、本部からの指導があると助かる。
■福祉施策の推進について(2件)
少子高齢化社会を迎えるにあたり、10～15年後を見据えた政策を、今からお願いしたい
マンション内に障がい者の方が居られるので、移動支援サービスなどを拡充して欲しい。
■集まる場について(1件)
町内に集会所があれば、雑談場所として、孤独な人を家から引き出せる。
■福祉委員について(1件)
町会の推薦を受けた福祉委員の方には、所属する福祉協議会の一員として活動していて、町会との調整がほとんどない状況です。もっと町会活動の一環として活躍してもらいたい。
■専門職の配置について(1件)
地域に密着した、何事にも対応できる職員（専門職）の配置が必要である。
■社会福祉協議会の必要性について(1件)
協議会の必要性を全く感じない。組織として不要である。
■個人情報保護について(1件)
個人情報保護法が福祉に関してはおおきな痛手になっている。
■子育て支援について(1件)
待期児童の問題に協議会として入って行って、横浜の様に出来ないかと思っています。
■行政の対応について(1件)
私の母は特定疾患の認定を「受けていた」のですが、その申請シートが市役所本庁に行ったり、プラザで申請したりと、高齢者の移動を考慮されたものとは全く思えない。私（息子）が介助しなければ動けない母に対する支援なのに、本人が動けない（申請できない）行政上のあり方に大きな不満を感じる。プラザへ行けば申請資料等全部揃えられるような体制づくりを切に要望するものである。このような基本的な事柄のハードルがある様では、この様な形式的なアンケート自体も意味が無いのではないか。
■その他(6件)
表彰等は目立つ人達、役員、町会長ではなく、土台を支える多くの方々に気を配る、光を当てる方向を目指して下さい。
各会の目的や活動の内容が伴っていない。
病院の看護師寮として2棟借り上げ運営をしているため、他の町会、自治会とは性質が違うことをご理解願いたい。

福祉のお仕事はとても大切だと頭では理解し、尊敬もしているが、いざ自分が活動するとなると、肉体的にも生活面でも無理、無関心な人が多く、自分の身に降りかかって初めて危機感を持つのだと思う。口ばかりの人が多すぎる。

個人ニーズの把握の方法を教えてください。

現在のところ、住民からの相談、意見等が出ていませんが、今後色々とありましたら、宜しくお願いしたいと思います。

Ⅲ 調査票

柏市地域健康福祉活動計画策定のための アンケート調査

町会・自治会・区・管理組合の長の皆様におかれましては、日ごろから柏市社会福祉協議会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

柏市社会福祉協議会では、「だれもが その人らしく 住み慣れた地域で いきいきと暮らせるまち 柏」の実現に向け、日々、住民の皆様とともにさまざまな活動に取り組んでいます。

少子高齢社会の進展や無縁社会が叫ばれる中、これからも地域で安心して暮らすためには、住民同士の身近な見守りや支えあいが、とても大切になります。そして、地縁関係を基盤とする町会等の相互扶助の取り組みは、今後益々重要になると考えています。しかし一方で、町会等の運営や活動においては、担い手不足など、さまざまな課題や悩みを抱えていると思います。

そこで、町会・自治会・区・管理組合の長の皆様を対象に、町会等の現状やご意見、ご提言を広くお聞きするアンケート調査を実施させていただき、身近な地域での支えあい活動を検討する資料とさせていただきたいと考えております。

このアンケート調査に際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年1月

社会福祉法人 柏市社会福祉協議会

ご記入にあたってのお願い

- この調査票には、お名前やご住所は、記入しないでください。
- お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。また、記入欄には、具体的にその内容をご記入ください。
- 本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。**思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、**1月31日(木)**までに、同封の封筒に入れて**(切手を貼らずに)**郵便ポストに投函してください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、回答にあたりご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査に関するお問い合わせ】

社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 企画政策担当（担当：藤田）

電 話：04-7163-3100（直通） FAX：04-7163-9300

I. 町会等についておたずねします。

問1 あなたの所属する町会・自治会・区・管理組合（以下、町会等という。）の地区はどれですか。（ひとつだけ○）

1. 柏中央	2. 新田原	3. 永楽台	4. 富里	5. 豊四季台西
6. 豊四季台	7. 旭町	8. 新富	9. 高田	10. 松葉
11. 田中	12. 西原	13. 富勢	14. 土	15. 藤心
16. 光ヶ丘	17. 酒井根	18. 南部	19. 大津ヶ丘・塚崎	20. 風早北部
21. 風早南部	22. 手賀			

問2 あなたの町会等の住宅特性はどれですか。（ひとつだけ○）

1. 戸建住宅中心	2. 戸建住宅と分譲マンション（団地）中心
3. 戸建住宅と賃貸住宅中心	4. 分譲マンション（団地）中心
5. 分譲マンション（団地）と賃貸住宅中心	6. 賃貸住宅中心
7. その他（商業施設中心等）	

問3 あなたの町会等への加入率は概ね何%くらいだと思いますか。（ひとつだけ○）

1. 90%以上	2. 80～90%未満	3. 70～80%未満
4. 60～70%未満	5. 50～60%未満	6. 50%未満

問4 あなたの町会等の総会出席状況はどうですか。（ひとつだけ○）

1. 殆どが委任状	2. 80%くらいの出席率	3. 50%くらいの出席率
4. それ以下の出席率	5. 規約等で総会は役員のみ出席となっている	

問5 あなたの町会等ではどのような活動に取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○） ※ ふるさと協議会の活動ではなく、町会等の活動でお考えください。

1. イベント活動（お祭り、運動会、文化祭等）
2. 自主防災活動（自主防災の設置等）
3. 福祉活動（見守り活動、サロン活動、敬老会等）
4. 健康づくり活動（ラジオ体操等）
5. 防犯活動（小学校の登下校時の見守り等）
6. 清掃・リサイクル活動（廃品回収、花いっぱい運動等）
7. その他（ ）

(問5で「2. 自主防災活動」と回答された方におたずねします。)

問5-1 どのような取り組みをされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 防災訓練・研修の定期的な開催 | 2. 町会として防災備品の備蓄 |
| 3. 町会員等へ防災備品の備蓄推進 | 4. 地域内の安全点検、見守り活動 |
| 5. 防災や避難経路マップ等の作成 | 6. 柏市防災福祉K-Net への協力 |
| 7. 安否確認の連絡網等の作成 | 8. その他 () |

(問5で「3. 福祉活動」と回答された方におたずねします。)

問5-2 どのような取り組みをされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 高齢者向けサロン活動 | 2. 子育てサロン活動 |
| 3. 見守り活動（声かけや話し相手等） | 4. 生活支援活動（ごみ捨て、草刈り等） |
| 5. その他 () | |

問6 あなたやあなたの町会等は、福祉に関する活動や相談に対応するとき、どんなところと連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 2. 柏市民健康づくり推進員 |
| 3. ふるさと協議会 | 4. 地区社会福祉協議会（地区社協） |
| 5. 子ども会 | 6. 老人クラブ |
| 7. ボランティアやNPO団体 | 8. 地域包括支援センター |
| 9. ボランティアセンター | 10. 市民活動センター |
| 11. 近隣センター（出張所含む） | 12. 市役所（関係各課） |
| 13. 柏市社会福祉協議会（市社協） | 14. その他 () |

問7 あなたの町会等の運営や活動で、課題と感じていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

【町会等の運営について】

1. 未加入世帯が多い
2. 賃貸住宅との関わりがない
3. 町会等への関心が低い
4. 活動に参加する人が少ない
5. 組織運営がうまくいかない
6. 町会等へのクレームが多い

【町会等の役員について】

7. 役員のなり手がいない
8. 事務や会計処理ができる人材がいない
9. 会長になるとなかなか辞められない
10. 改選時に会長や役員同士の引継ぎがない

【活動内容について】

11. 活動を継続するのが大変
12. 活動内容がマンネリ化している

【困難事例等について】

13. 相談やトラブル対応が難しい
14. 個人情報の取り扱いが難しい
15. 孤立（単身）世帯への対応が難しい

【他の組織との連携等について】

16. 市からの依頼事項が多い
17. 市以外からの依頼事項が多い
18. ふるさと協議会の役職・業務等の負担が大きい
19. 他の町会等と繋がりや交流がない

【その他】

20. 町会等のあるべき姿が見えない
21. 町会等の必要性を感じない
22. その他（ ）

（問7で課題と感じていることについておたずねします。）

問7-1 既に課題解決に向けて、積極的に取り組まれていることはありますか。
また、どんな取り組みをしていますか。（ご自由にお書きください）

問8 町会等の大切な役割を一言で言うと何だと思いますか。（ご自由にお書きください）

問9 町会等の運営や活動に関して、あるとよいと思うものはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 町会等の運営業務の一部委託（事務的なもの）
2. 町会等の運営に係る専門相談（法律相談など）
3. 町会等加入の推進に係る支援（先進事例集、情報交換会など）
4. 町会等運営や企画等に関する研修（事業企画研修など）
5. 講座や事業の企画運営支援（防災訓練、祭りなど）
6. 行事等で使用する資機材支援（備品貸出、運搬支援など）
7. その他（ ）

Ⅱ. 日常生活の支援についておたずねします。

※ 日常生活で支援を必要とする人について

このアンケートでは、高齢者や障がい者、乳幼児とその母親など、日常生活において何らの支援や見守りが必要な人のことを「日常生活で支援を必要とする人」と定義しています。

問 10 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人を把握していますか。

(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 充分把握している | 2. ある程度把握している |
| 3. 少しだけ把握している | 4. まったく把握していない |
| 5. 把握する必要性を感じていない | |

問 11 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人は、普段どんなことに困っていると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 仲間がつくりにくい | 2. 買い物等の外出ができない |
| 3. 電球交換等の軽作業ができない | 4. ごみ捨てができない |
| 5. 町会行事に参加できない | 6. 町会の班長等ができない |
| 7. その他 () | |

問 12 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人への支援について、どのように考えていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|--|
| 1. 具体的に取り組んでいる |
| 2. 取り組み等について話し合っている |
| 3. 話し合いや取り組む必要性を感じるが、まだ話し合いや取り組みまで至っていない |
| 4. 話し合いや取り組む必要性を感じていない |

問 13 あなたの町会等では、日常生活で支援を必要とする人に対して、今後どのようなことに取り組みそうだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 生活支援 (ごみ捨て、草刈り等) | 2. サロン活動 (仲間づくりの場) |
| 3. 見守り活動 (声かけや話し相手等) | 4. 緊急時の支援 (安否確認等) |
| 5. その他 () | 6. 取り組めることはない |

(問 13 で「1. 生活支援」と回答された方におたずねします。)

問 13-1 具体的には、どのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. ごみ捨て | 2. 草刈り |
| 3. 買い物代行 | 4. 家事 (調理、洗濯等) |
| 5. 外出支援 | 6. 日常的な軽作業 (電球交換など) |
| 7. その他 () | |

問 14 町会等が、日常生活で支援を必要とする人へ支援活動を行うとしたとき、町会等に対して、どんな支援があると進めやすいと思いますか。（ご自由にお書きください）

Ⅲ. 柏市社会福祉協議会（市社協）についておたずねします。

問 15 市社協では、現在、主に次のような取り組みをしています。知っている取り組みは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 総合相談・貸付事業（福祉の相談や低所得者等に緊急一時的に生活費等の貸付を行う）
2. 権利擁護事業（判断能力が不十分な高齢者等の適正な福祉サービス利用や財産を守る）
3. さわやかサービス（制度外の日常生活支援を住民参加により行う在宅福祉サービス）
4. こらくだくん（公共交通機関が利用できない障がい者や高齢者の移動支援サービス）
5. ファミリー・サポート・センター（住民参加による子どもの一時預かり等サービス）
6. 地域活動支援（ふるさと協議会や地区社会福祉協議会等の地域組織と活動の支援）
7. ボランティアセンター（ボランティア活動の支援や新たな福祉活動の担い手の育成等）
8. 福祉教育（次世代を担う子どもたちの福祉の心を育む）
9. 企業の社会貢献支援（企業等の社会貢献活動を柏市の福祉の力に結び付ける取り組み）
10. 地域福祉の情報誌「紙ひこうき」（福祉活動、講座案内等の情報提供）
11. 災害ボランティアセンター（地震等災害時に設置し、ボランティアと被災者支援等を行う）

問 16 市社協に今後、特に期待する施策はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 福祉に関する啓発活動や情報提供
2. 地域活動やボランティア活動等のリーダー育成
3. 小地域活動(町会等活動含む)への支援
4. 地域住民や子どもたちへの福祉教育や学習支援（福祉の心を育む活動など）
5. 高齢者支援の充実（介護予防や認知症にやさしいまちづくりなど）
6. 障がい者支援の充実（社会参加や外出支援など）
7. 子育て支援の充実（育児支援や仲間づくりなど）
8. 社会的孤立への対応（孤立や引きこもり防止など）
9. 市が実施していない福祉サービスの提供（介護保険制度で対応できない在宅支援など）
10. その他（ ）

問 17 市社協では、今後さらに増える福祉課題に対応するため、近隣センター等を拠点とした身近な福祉の相談窓口の設置を進めています。このような取り組みについてどう思いますか。(ひとつだけ○) ※ 下記「参考」をご覧ください

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. とても重要だと思う | 2. 重要だと思う |
| 3. あまり重要だとは思わない | 4. 重要だとは思わない |

参 考



風早南部地域活動センター

《地域活動センターとは》

今後さらに増える福祉課題に対応するため、近隣センター等の住民に身近な場所で、福祉相談や地域活動を支援する地域の拠点です。

《主な取り組み》

福祉の総合相談、日常生活支援サービスとの調整、ボランティア活動の支援や調整、新たな人材育成、さまざまな地域組織との連携や活動の支援 など…

《現在の設置場所（それぞれ週3日開所）》

風早南部地域活動センター（高柳近隣センター内）

松葉町地域活動センター（松葉町近隣センター内）

※ 各コミュニティエリア(20 地区)への設置を目指しています。

IV. 町会・自治会・区・管理組合の長についておたずねします。

問 18 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 40 歳未満 | 2. 40 歳代 | 3. 50 歳代 |
| 4. 60 歳代 | 5. 70 歳代 | 6. 80 歳以上 |

問 19 あなたは現在、初めての就任から何年目ですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. 1 年目 | 2. 2 年目 | 3. 3 年目 |
| 4. 4 年目 | 5. 5 年以上 | |

問 20 町会・自治会・区・管理組合の長として、町会等の運営や活動で一番工夫していることはなんですか。(ご自由にお書きください)

--

問 21 町会・自治会・区・管理組合の長として、福祉に関するどのような相談や悩みを受けたことがありますか。また、相談を受けて対応に困ったことはなんですか。(ご自由にお書きください)

--

問 22 最後に住みよいまちづくりや柏市社会福祉協議会に対し、ご意見やご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、1 月 31 日 (木) までに、
同封の封筒に入れて切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

柏市地域健康福祉活動計画策定のための
アンケート調査報告書

平成 25 年 3 月 発行

発行：社会福祉法人 柏市社会福祉協議会
〒277-0005 千葉県柏市柏五丁目 1 1 番 8 号
介護予防センターいきいきプラザ内
電話：04-7163-3100 FAX：04-7163-9300
ホームページ <http://www.kashiwa-shakyo.or.jp/>

